

Inagi あい プラン

## 第四次稲城市生涯学習推進計画



令和5（2023）年3月  
稲城市

# はじめに

本市は、全国的にも早い平成8年に「稲城市生涯学習推進計画」（通称：Inagi あいプラン）を策定しています。

第一次から第三次稲城市生涯学習推進計画の期間中に、稲城市立iプラザ開館やいなぎICカレッジ創設などを実現し、社会教育・生涯学習を推進するための場や制度・体制・事業を整えてきました。



今回の第四次稲城市生涯学習推進計画は、その成果を継承しつつ、変革の時代に応じた計画であり、主たる行政の役割として、場や制度を整え、様々な活動の担い手でもある市民が、自主的に、あるいは市との協働により事業を推進し、能動的な学習となる生涯学習の推進を目指します。

市は第五次稲城市長期総合計画に基づき「SDGsによる包摂的な取り組みを、シビックプライドによる市民協働によりなし遂げる」ことを目指しており、生涯学習・社会教育についてはまさに市民の主体的な活躍や協働が求められる分野になります。

時代の変革に取り残されない市であり、市民であることを目指し、持続可能性を高めるべくこの計画を策定いたしました。

策定にあたりまして、生涯学習に関係する各分野の市民を代表する社会教育委員の皆さまに多大なご尽力を賜りました。また市民の皆さまからの貴重なご意見、アンケート調査協力等、たくさんのご協力をいただきました。関係各位、市民の皆様には心から御礼を申し上げます。引き続き、市の社会教育・生涯学習の発展充実にご尽力をお願い申し上げます。

令和5年3月 稲城市長 **高橋勝浩**

# 目次

## 第1章 稲城市が目指すもの

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の目的	1
3 計画の期間	1
4 計画の位置づけ	2
5 計画の範囲	2
6 関係法令や国・都などとの関係性	3
7 本計画の基本理念・テーマ	4

## 第2章 稲城市の生涯学習の現状と課題

1 稲城市の生涯学習基盤	5
2 市民の生涯学習の活動状況	6
3 生涯学習を行っている市民の意識調査（市民アンケート結果）	9
4 これまでの稲城市生涯学習推進計画の成果	14
5 稲城市の生涯学習を取り巻く課題	20

## 第3章 “にないあい”のまちづくりへの取組

1 施策体系図	22
2 重点プロジェクト	24
（1）学習環境（場）の整備	25
（2）学習者の裾野の拡大	26
（3）地域づくりの担い手の確保	27

## 第4章 市民の生涯学習支援施策

1 稲城市が行う主な生涯学習事業	28
（1）生涯学習の基礎期間を充実します	28
（2）多様な学習機会を充実します	32
（3）市民どうしの交流機会を充実します	38
（4）市民参画を軸とした生涯学習を支援します	40
（5）市民の生涯学習活動の支援体制を整備します	42
2 稲城市行政以外が行う生涯学習事業	46

## 第5章 計画の評価

1 計画の評価の必要性	47
2 計画の評価の方法	47
3 進行管理	47

## 資料編

資料—1	48
資料—2	49
資料—3	50
資料—4	51
資料—5	52

◇ 文中に※をつけている用語については、資料の用語解説（P.51）に意味を記載しています。

# 第1章 稲城市が目指すもの

## 1 計画策定の趣旨

市は、平成7年の「稲城市の生涯学習の振興のあり方について～であい・ふれあい・まなびあい～」(提言)を受け、平成8年に「稲城市生涯学習<sup>※1</sup>推進計画」(以下「第一次計画」という。)を策定し、「生涯学習宅配便講座」、「子ども100ポイント・ラリー」などの事業を通じて、生涯学習推進事業の基礎を整備しました。

続く「第二次稲城市生涯学習推進計画」(以下「第二次計画」という。)を策定し、稲城市の生涯学習を推進する中心的システムとなる「いなぎICカレッジ」を創設するなど、“にないあい”に基づく市民と行政との協働を促進しました。

そして「第三次稲城市生涯学習推進計画」(以下「第三次計画」という。)では、「生涯学習宅配便講座」や「いなぎICカレッジ」の講座数や内容の充実を図ると共に、同カレッジの自立予算化を確立し、事業の更なる安定化を図りました。

そういった各事業や制度の成熟を受け本計画は、第一次から第三次計画により担われた人材・仕組み・土壌などの継承と一層の発展を通じ、SDGs<sup>※2</sup>・少子高齢化・感染症の大規模流行を契機とした生涯学習のあり方・経済環境の変化などの時世を踏まえた課題に対応する計画とします。

## 2 計画の目的

生涯学習は、一人ひとりの市民が自発的・主体的に行うことが基本であり、活動を行うか否かも含めて、その選択はあくまでも市民に委ねられます。行政の役割は、この選択可能性を高めるための環境整備により、市民の学習活動を支援することです。したがって、本計画の基本的な目的は、稲城市民の生涯学習についての機会や環境を整備することです。

## 3 計画の期間

本計画の期間は、第五次稲城市長期総合計画、第三次稲城市教育振興基本計画との整合を図り、令和5年度から令和9年度までの5年間とし、この間に大きな社会情勢等の変化があり、本計画への影響が大きいと考えられる場合には、適宜見直しを図ります。

※1 生涯学習：人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習である。

※2 SDGs(エスディーゼーズ)：2015年9月の国際サミットにて全会一致で採択された17の国際目標。2030年を年限とし、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目標としている。

## 4 計画の位置づけ

本計画は、第五次稲城市長期総合計画の分野別個別計画として、長期総合計画の実効性を確保・補完するため、生涯学習関連施策の体系及び方向性を示し、生涯学習を具体的に推進していくための取組みを明らかにするものです。

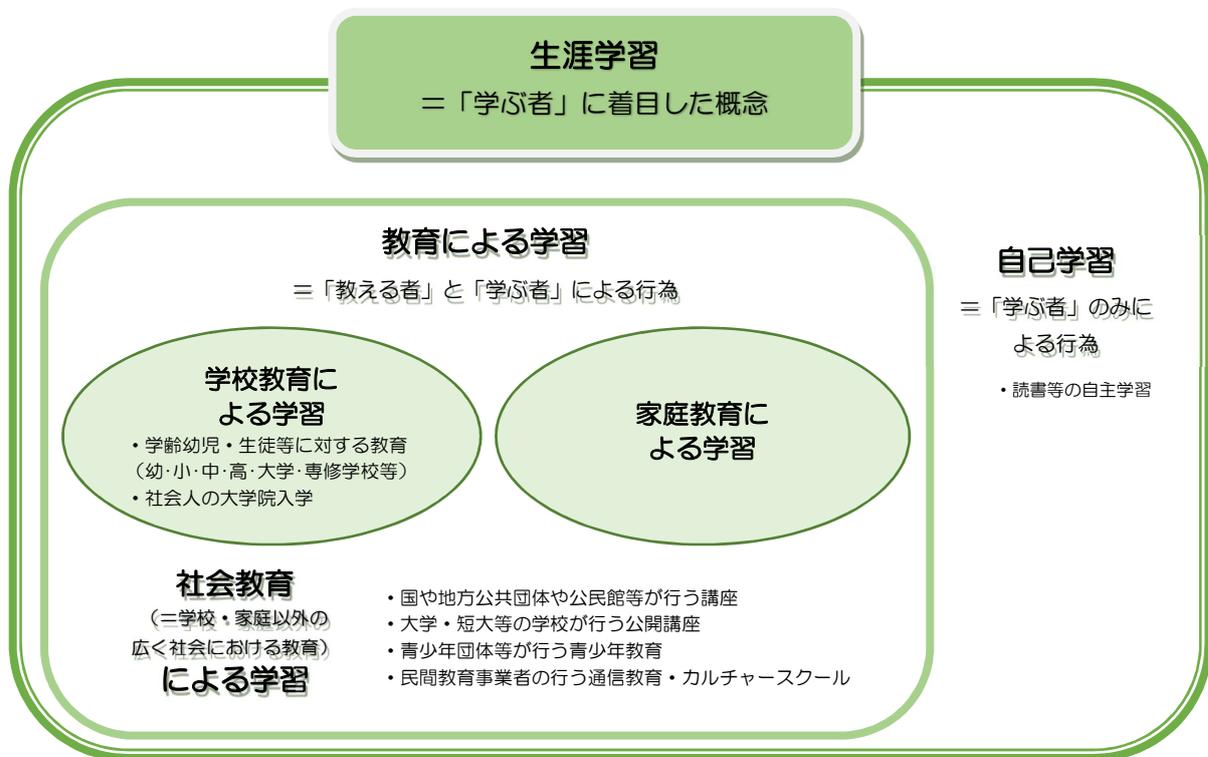
また、本計画の策定及び実施にあたり、稲城市の他の諸計画及びそれらに基づいた施策・事業との整合性に配慮します。特に、稲城市の諸計画の中で教育・学習的な側面を抽出し、つなぎあいプランの観点に立って、諸施策及び諸事業を連携させていくことを重視します。

## 5 計画の範囲

本計画では「生涯にわたって行われる自発的かつ主体的な学習活動」として定義される「生涯学習」及び、「学校教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む）」と定義される「社会教育」を対象範囲とします。

なお、「生涯学習」や「社会教育」についてはその範囲が広範にわたることから、高齢者福祉や環境保全など、個々の計画において中心的な施策が記載されている場合は、役割分担・一元管理を図る観点から、それぞれの個別計画による推進を基本とします。

【生涯学習と社会教育の関係（イメージ図）】



出典：中央教育審議会 生涯学習分科会資料

## 6 関係法令や国・都などとの関係性

関係法令などでは、日本国憲法第26条において「教育を受ける権利」がうたわれています。

また、教育基本法第3条「生涯学習の理念」では、生涯にわたって様々な形で「学習することができる社会」を実現しようとする姿勢が示され、第12条「社会教育」では、「国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。」として、その責務が定義されています。

これらの権利規定や責務の定義などにに基づき、国際的な目標であるSDGs※、社会教育法、学校教育法などの推進体制等の整備に関する法律や生涯学習関連答申、教育振興基本計画、東京都教育振興基本計画、稲城市長期総合計画、稲城市教育振興基本計画など関係計画との連携・整合を図ります。



出典：国連本部



## 第2章 稲城市の生涯学習の現状と課題

### 1 稲城市の生涯学習基盤

#### 生涯学習施設等の整備状況

市はこれまでに、市内全域に生涯学習活動の拠点となる施設整備に取り組んできました。これにより、中学校区ごとに文化センターを整備し、他にも中央図書館や総合体育館など、生涯学習関連施設を数多く設置することができています。

#### 施設ごとの事業内容

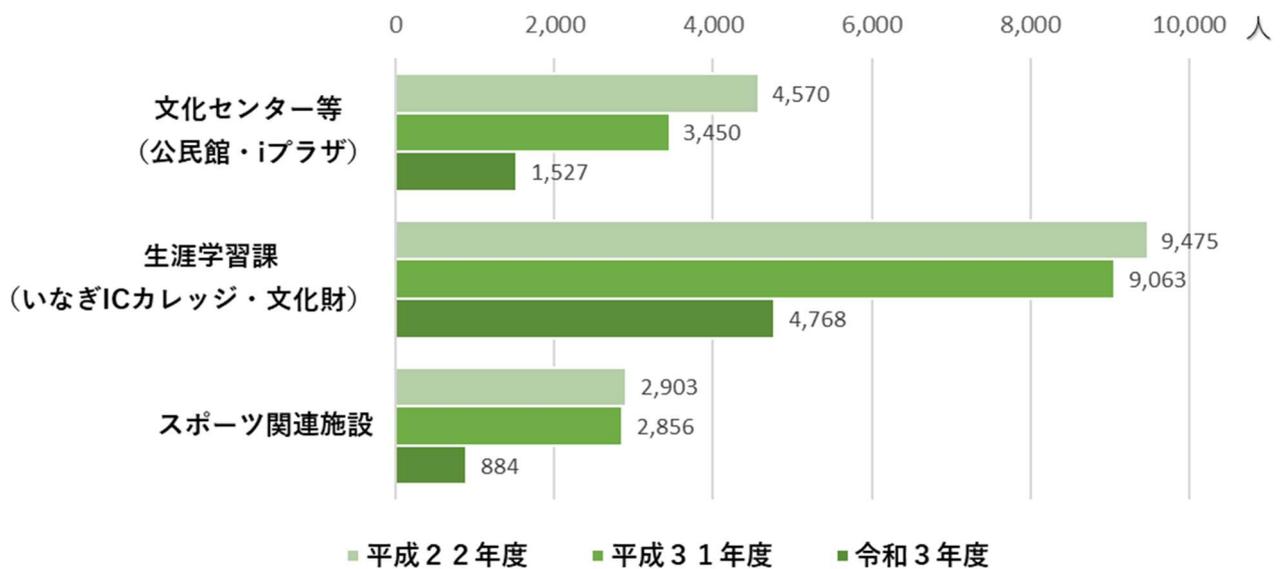
施設	事業内容
文化センター（公民館）	市内5館で生活に必要な講座の開設や、市民の様々な学習活動や公共的活動に施設を提供。
図書館	市内6館で図書の貸し出し、リクエストサービス、レファレンスサービス <sup>※</sup> 等を展開。
体験学習館	自然等の写真、絵画、資料等の展示や、自然観察会、ものづくり、発表会などの事業を展開。
複合施設ふれんど平尾	教育相談室や郷土資料室などがあり、教育や文化財普及啓発・保全に係る事業を展開。
稲城市立iプラザ	生涯学習活動及びコミュニティ活動の推進、文化芸術の振興、青少年の健全育成を目的に事業を展開。
総合体育館	「市民ひとり1スポーツ」を目標にトレーニングルーム、アリーナ、柔剣道場等の開放と事業等を展開。
地域振興プラザ	産業の振興、雇用の促進、市民交流、市民活動等の支援、男女共同参画社会の促進を図る事業を展開。
オーエンス健康プラザ	市民の「からだところの健康づくりをサポートする施設」として多様な事業を展開。

## 2 市民の生涯学習の活動状況

### (1) 主な生涯学習事業の参加状況

市は、公民館活動を中心とした社会教育活動が非常に盛んです。市民は、各種の学習活動、文化・芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動などに積極的に参加しており、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない平成31年度には、市主催の事業（講座、教室）に延べ約15,000人以上の市民が参加しています。

主な生涯学習事業の延べ参加者数



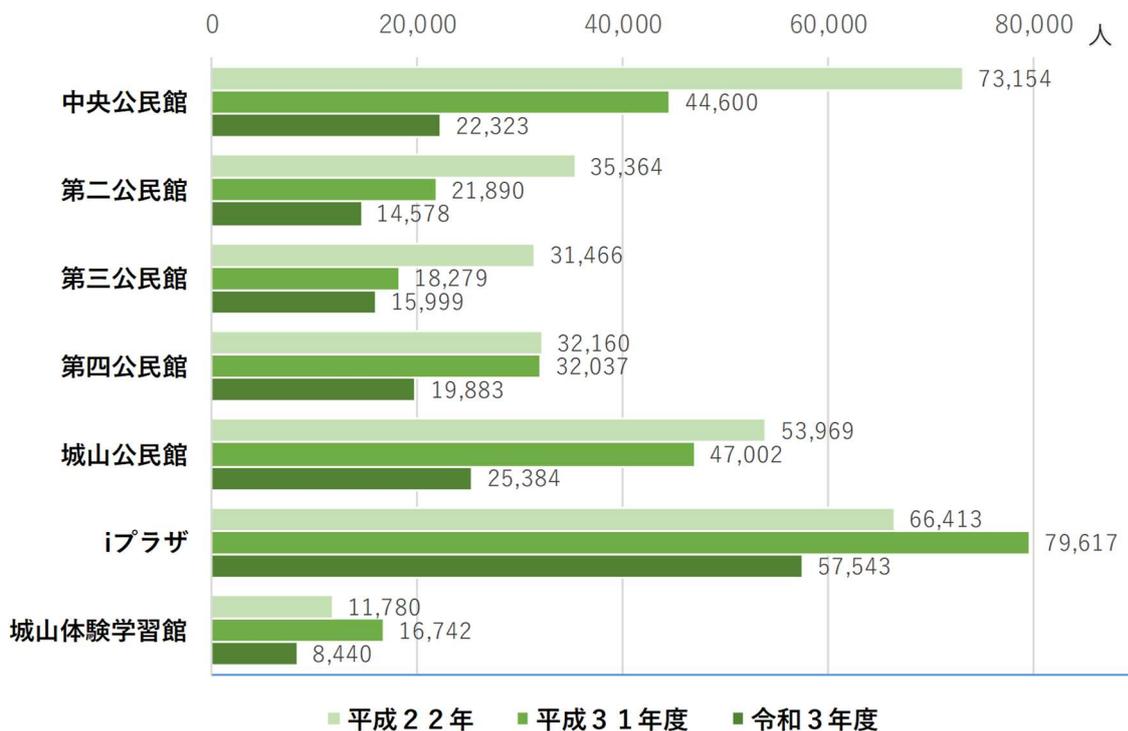
資料出典：稲城市教育委員会

### (2) 主な生涯学習施設の利用状況

市内の各種施設の利用が非常に盛況です。新型コロナウイルス感染症の少ない平成31年度の主な生涯学習施設の延べ利用者数は年間約26万人以上でした。また、市は感染防止対策の徹底や必要な業務縮小を図りつつ「学びの場」の提供を継続した自治体であり、令和3年度においても約16万人以上の利用者が活動しています。



### 主な生涯学習施設の延べ利用者数

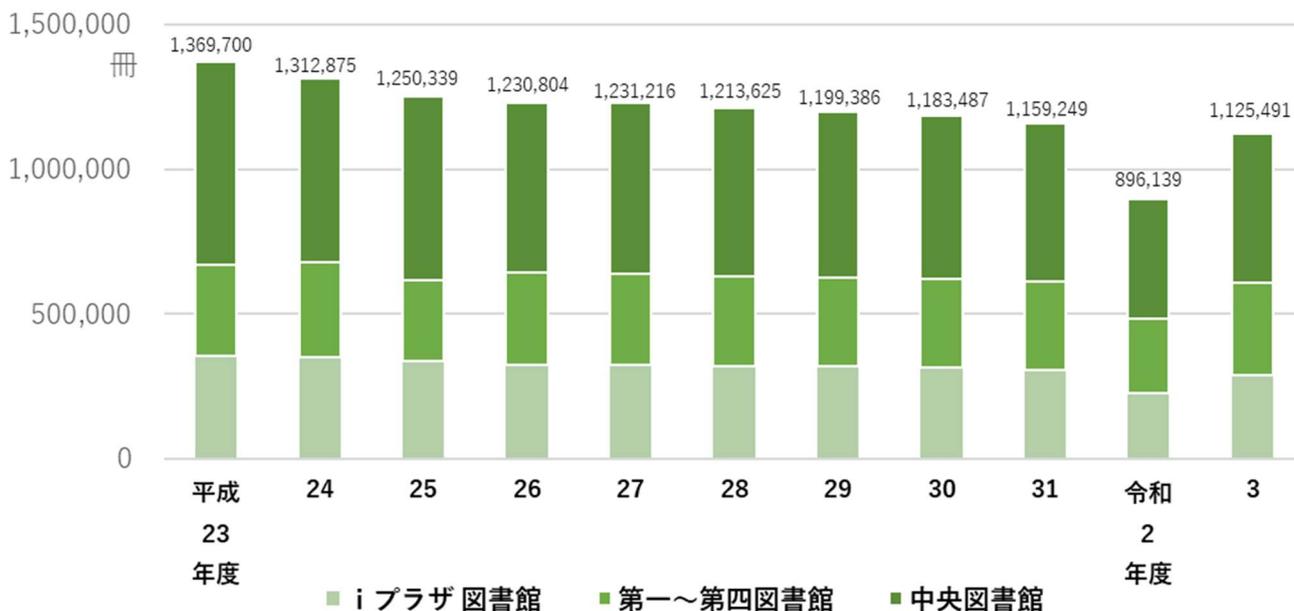


資料出典：稲城市教育委員会

個人的な生涯学習の指標となる図書館の貸し出し冊数について見てみると、中央図書館、iプラザ図書館が開館したことにより、平成22年度まで貸し出し冊数の大幅増加がありました。

その後貸出冊数は、減少傾向となっており、インターネットの普及による電子図書館のサブスクリプション\*サービスの利用やウェブサイトの検索など、図書館を利用しない読書や個人学習などの多様な学びの形態が広まっています。

### 図書館個人貸し出し冊数の推移



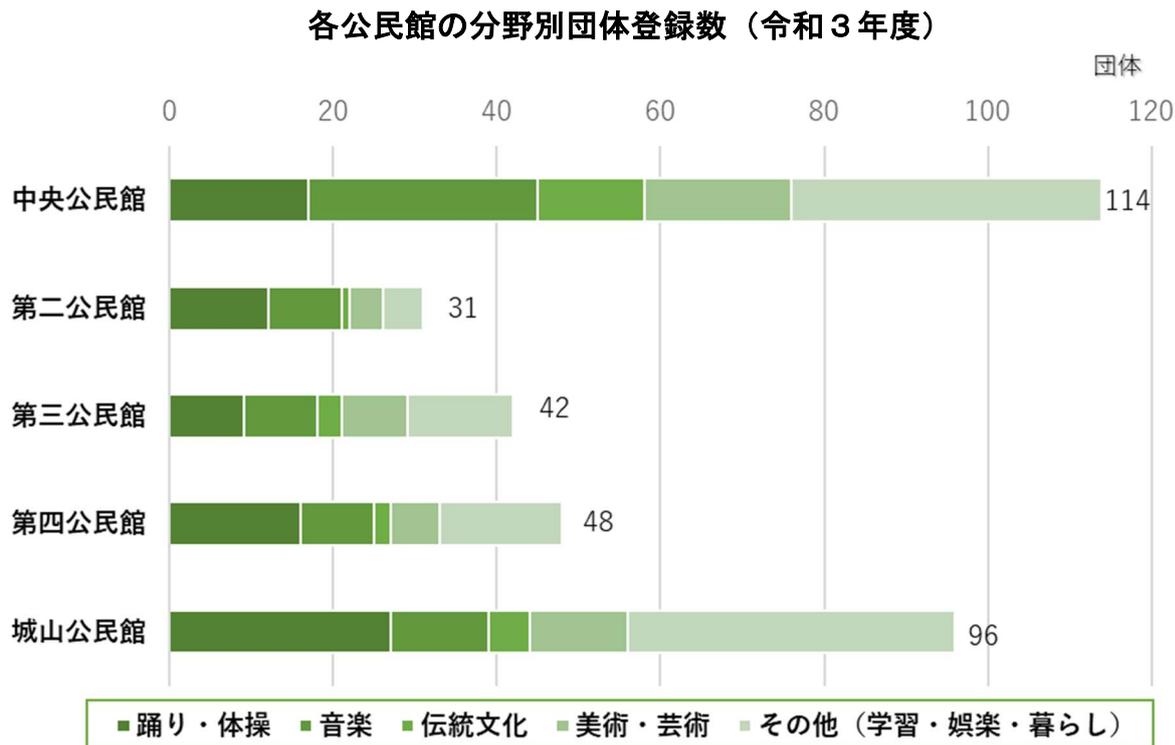
資料出典：稲城市教育委員会

### (3) 主な生涯学習サークル・団体等の状況

自主的に活動を進めているグループやサークル・団体について見てみると、新型コロナウイルスの影響があるなかでも、令和3年度に中央公民館をはじめ5つの公民館に登録して活動している団体数は合計 331 団体あり、生涯学習活動の活発さが伺えます。

活動分野は、「学習・娯楽・暮らし」の活動が多く、次いで、「踊り・体操」、「音楽」、「美術・芸術」に関する団体が継続的に活動しています。

※実態の把握に努めるべく、令和3年度中に活動があった団体に絞って集計しています。



資料出典：稲城市教育委員会



### 3 生涯学習を行っている市民の意識調査（市民アンケート結果）

#### （1）調査の概要

市では、第四次計画の策定に向けて、令和3年11月から12月にかけて「稲城市民の生涯学習に関する意識調査」を実施しました。

調査対象者：公民館・iプラザ・総合体育館・体験学習館・いなぎICカレッジなどで生涯学習を行っている市民

※ 活動状況（活動時間帯、平日・土日、活動分野など）を勘案して抽出

※ 調査対象者数 1,000 人、有効回答者数 786 人、回収率 78.6%

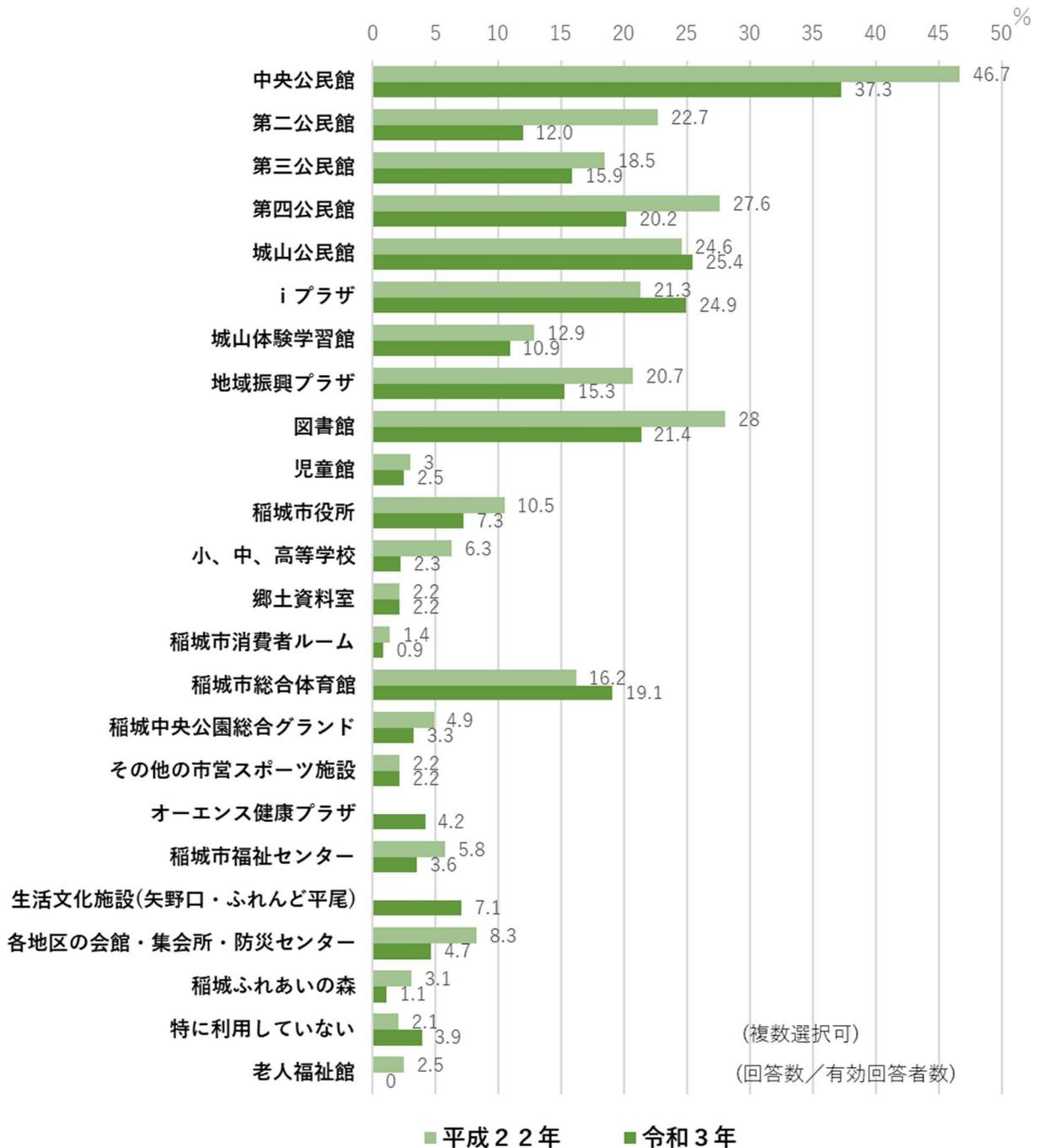
#### 生涯学習をしている市民の意識調査の属性（有効回答者）

	全体	男性	女性
20代	16	6	10
30代	45	3	42
40代	79	8	71
50代	76	16	60
60代	177	32	145
70代	298	74	224
80代以上	95	35	60
合計	786	174	612

## (2) 生涯学習施設等の利用状況

生涯学習施設等の利用状況を比べてみると、公民館を中心に活発な社会教育活動が行われています。中でも、「中央公民館」はホール設備を有していることや、市域全体を活動範囲とする団体の会合場所としての利用が多いことから、学習者の多くが利用しています。また、「iプラザ」、「図書館」、「総合体育館」、「地域振興プラザ」など、アクセスの良さや多様な利用要望を満たせる利便性の高い施設の利用が多くなっています。

施設の利用状況

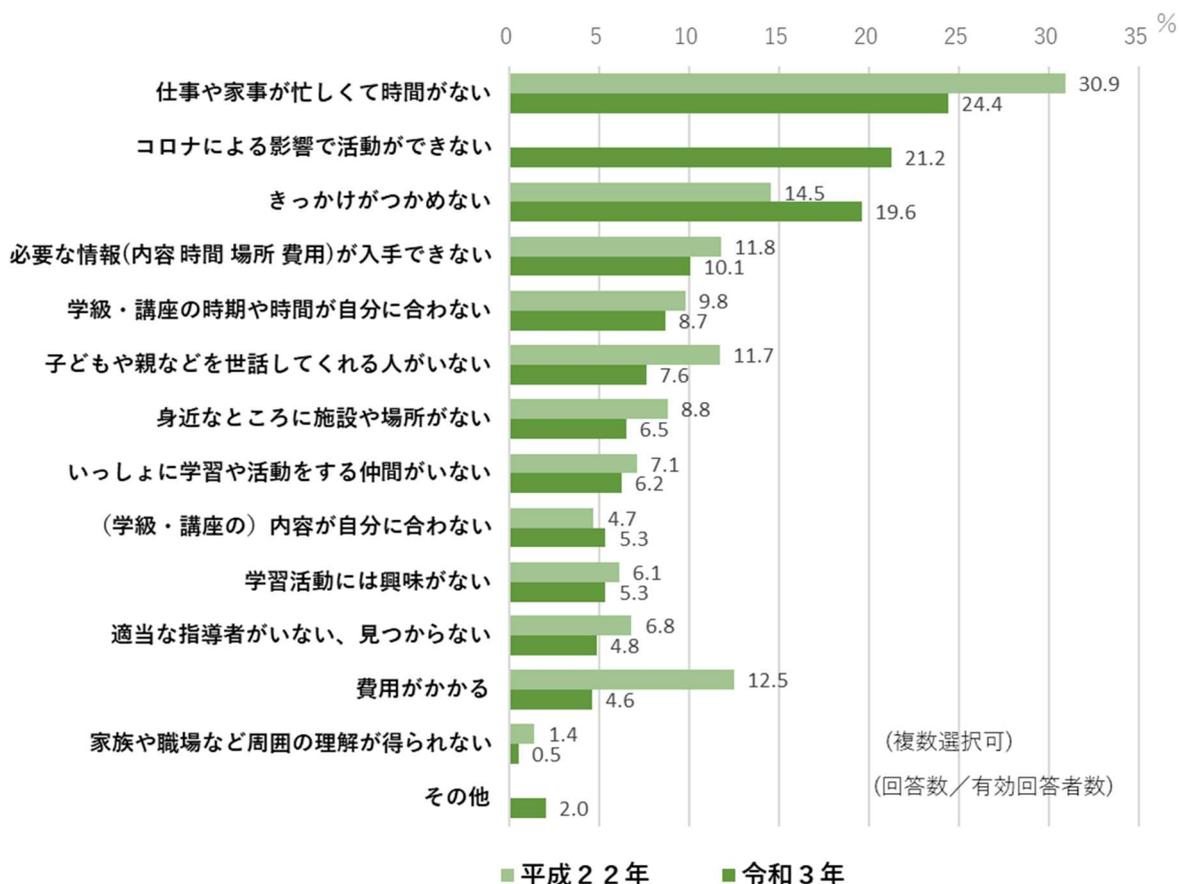


### (3) 家族・友人の生涯学習の支障

生涯学習の推進を図る際の支障について伺ったところ、最も多かった「仕事や家事が忙しくて時間がない」は、順位こそ変わらないものの回答数が減少しました。一方で、「きっかけがつかめない」が19.6%と前回よりも回答数が増え、「コロナによる影響で活動ができない」に比肩する回答数となりました。

それ以外の項目では、ほとんどの支障について回答数が減少したほか、「費用がかかる」については大幅な減少を示しており、市における生涯学習に係る受講料などの費用の廉価化や、費用対効果・価値評価の向上などが伺える結果となりました。

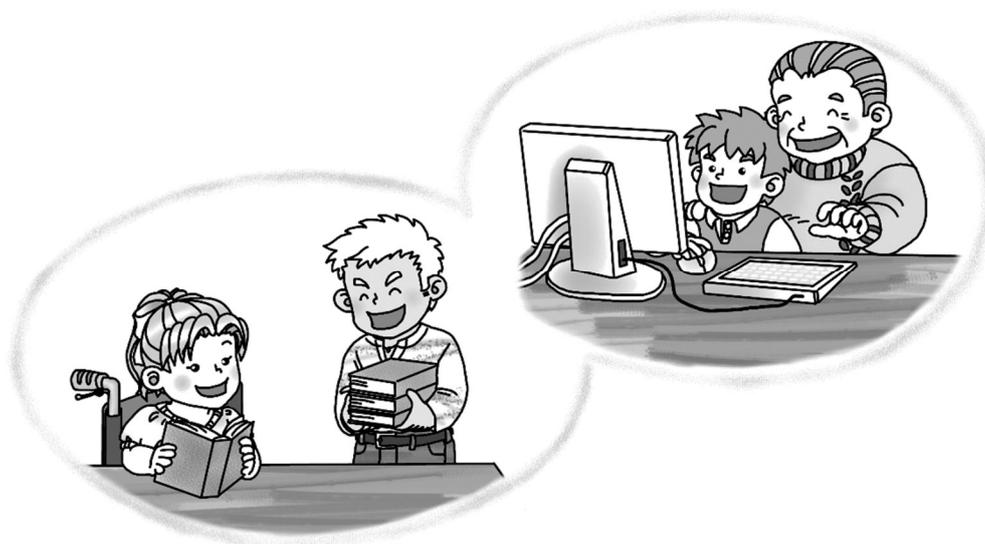
家族・友人の生涯学習の支障



## (4) 学習活動を行っていくうえで、どのような支援があればよいと思いますか。

質問項目に対する自由記述回答を集計したところ、「制度の充実」と「施設環境や事業などの充実」の2項目に集約されました。活動のしやすさや情報の得やすさ、新型コロナウイルス感染症対策などとしても有効なオンライン講座の推進や施設設備改善など、生涯学習環境・機会の提供を目的とする本計画において取り上げるべき項目が複数挙げられています。

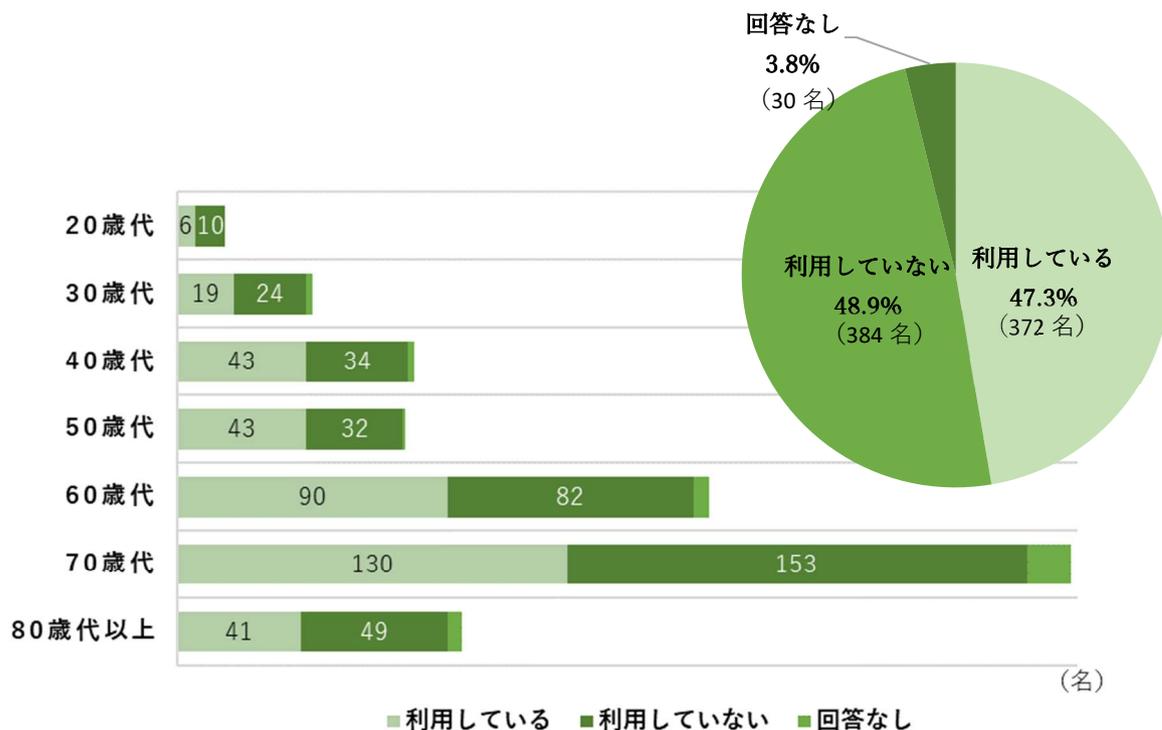
制度の充実について	施設環境や事業等の充実について
活動中の保育支援	Wi-Fi※環境の充実
施設情報の発信	オンライン講座の推進
施設等利用料の減免など	施設設備の改善
	交通手段の利便について
	講座・企画・イベントの増加など



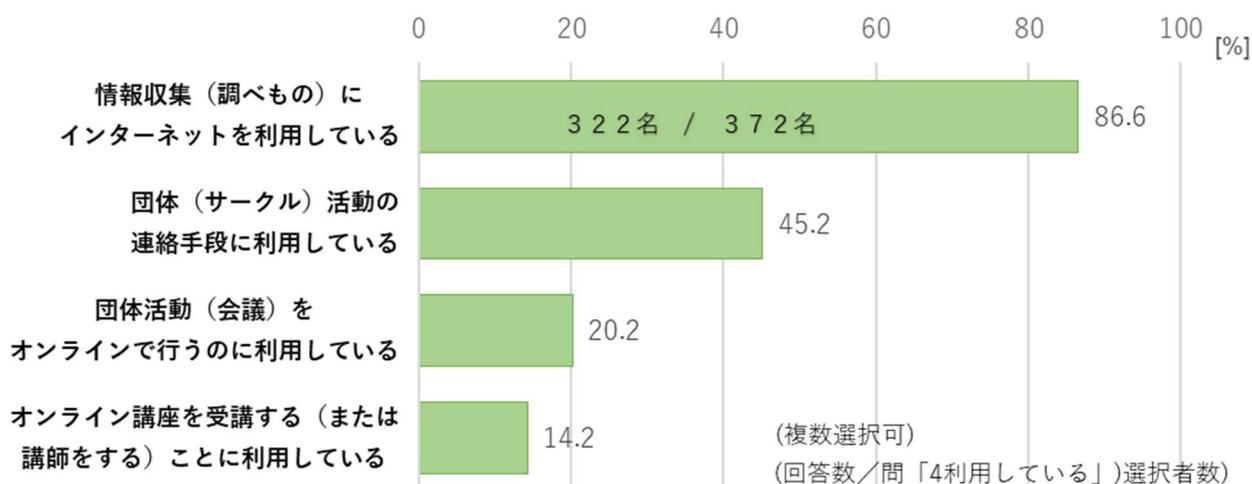
## (5) パソコン・タブレットの利用について

調査対象者に生涯学習に係るインターネットの利用状況について伺ったところ、学習者の約半数がインターネットを利用し、情報収集や連絡、学習活動に利用していました。「情報収集にインターネットを利用している」とする回答は、「図書館個人貸し出し冊数の推移 (P.7)」とも繋がるもので、インターネットが生涯学習における重要なツールであることを示すと共に、半数程度の方々は「オンライン講座」を比較的に利用し易い環境にあると見込まれる結果となりました。

### 学習活動にパソコン・タブレットを利用していますか。



### どのようにパソコン・タブレットを利用していますか。



## 4 これまでの稲城市生涯学習推進計画の成果

第一次から第三次計画のプロジェクト実践を通じ、基本目標の達成を図り、市民の生涯学習活動を支援してきました。

基本目標	重点プロジェクト
<b>第一次計画</b> “であい・ふれ愛(あい)・まなび1(あい)” “伝えあい・知らせあい”、“つなぎあい”	①いなぎの生涯学習の中心的システムづくり ②まちづくりと生涯学習とのつなぎあい ③教育と福祉とのつなぎあい
<b>第二次計画</b> “1(あい)”からはじまる“つなぎあい” “うえ(ステップアップ)”をめざした “まちづくり”	①市民どうしの“つなぎあい”の舞台の整備充実 ②“つなぎあい”を軸にした学習支援 ③市民と行政との“つなぎあい”の促進
<b>第三次計画</b> “いかしあい・はぐくみあい・ にないあい”の絆づくり	①“にないあいシステム”の充実 ②“にないあい人”養成プロジェクトの推進 ③“にないあい支援基地”づくりの推進

### 【これまでの主な取り組み（成果）】

- ・人材バンク事業の充実
- ・生涯学習宅配便講座の充実
- ・子ども100ポイント・ラリー事業の継続
- ・いなぎICカレッジの充実
- ・子育て世代・若者・高齢者等の支援
- ・生涯学習だより「ひろば」の発行の充実
- ・図書館ネットワークの整備

## (1) 人材バンク事業の充実（平成6年～）

稲城市人材バンク事業は、平成6年1月から始めました。生涯学習に関連する有用な人材を登録し、公民館等関連する機関や市民グループで活用を図ることを目的にこれまで実施してきました。

年間5人程度の新規登録者があり、令和3年には32部門に延べ146人が登録しています。様々な分野での学習成果を市民の学習活動に役立てるための基盤になっており、生涯学習宅配便講座の講師として10人、いなぎICカレッジ講師として18人が活躍しています。

令和3年度 人材バンク登録者数

	部 門	件数		部 門	件数
1	社会科学	19	18	舞踊	6
2	自然科学	3	19	演劇	1
3	地理	0	20	映像	1
4	医学薬学・保健衛生	5	21	作法	11
5	福祉	2	22	服飾	1
6	歴史・文化財	0	23	手芸	4
7	心理学・哲学	5	24	料理	3
8	産業	1	25	園芸	1
9	技術・工学	0	26	娯楽	3
10	環境整備	0	27	球技	4
11	生活	7	28	武道等	3
12	語学	15	29	水泳	0
13	コンピューター	6	30	ウィンタースポーツ	0
14	経営	2	31	体操	15
15	文芸	0	32	その他のスポーツ	3
16	音楽	9			
17	美術	16		合 計	146

32部門に登録者実人数115人（延べ146人）

資料出典：稲城市教育委員会

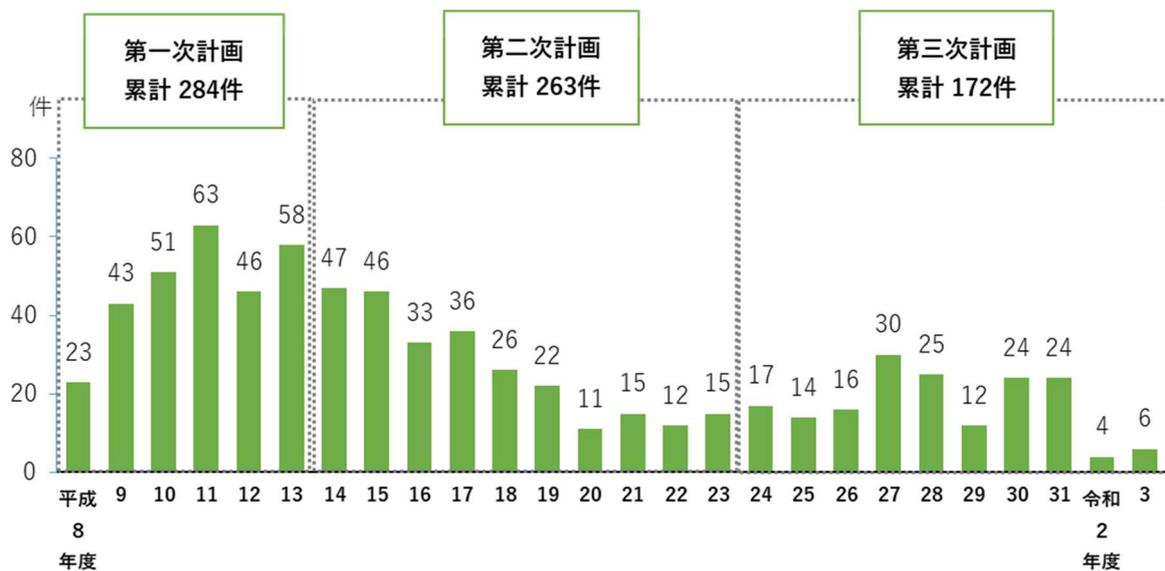


## （2）生涯学習宅配便講座の充実（平成9年～）

「生涯学習宅配便講座」は、市職員が市民のもとへ出向き、まちづくり情報や行政の仕組みなどの情報を伝えるシステムとして平成9年にスタートしました。その後、市民の持っている知識・技能・経験を生かすべく、平成10年度に「市民ボランティア講師編」を、平成11年度には「企業講師編」を、平成13年度には「官公庁講師編」を、さらに平成14年度には「NPO講師編」を加え、提供講座の充実を図りました。

近年では様々な行政情報の閲覧がインターネット上から可能なことや、新型コロナウイルス感染症の影響などを受け利用件数は減少傾向にあります。講座数や内容の充実を図り、大切な社会教育の機会、また“にないで”育成の手段の1つとして、引き続き整備・運用を図っています。

生涯学習宅配便講座の利用件数

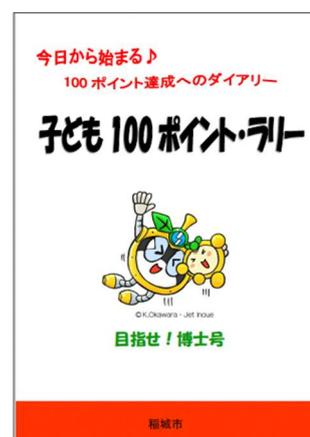


資料出典：稲城市教育委員会

### (3) 子ども 100 ポイント・ラリー事業の継続（平成 10 年～）

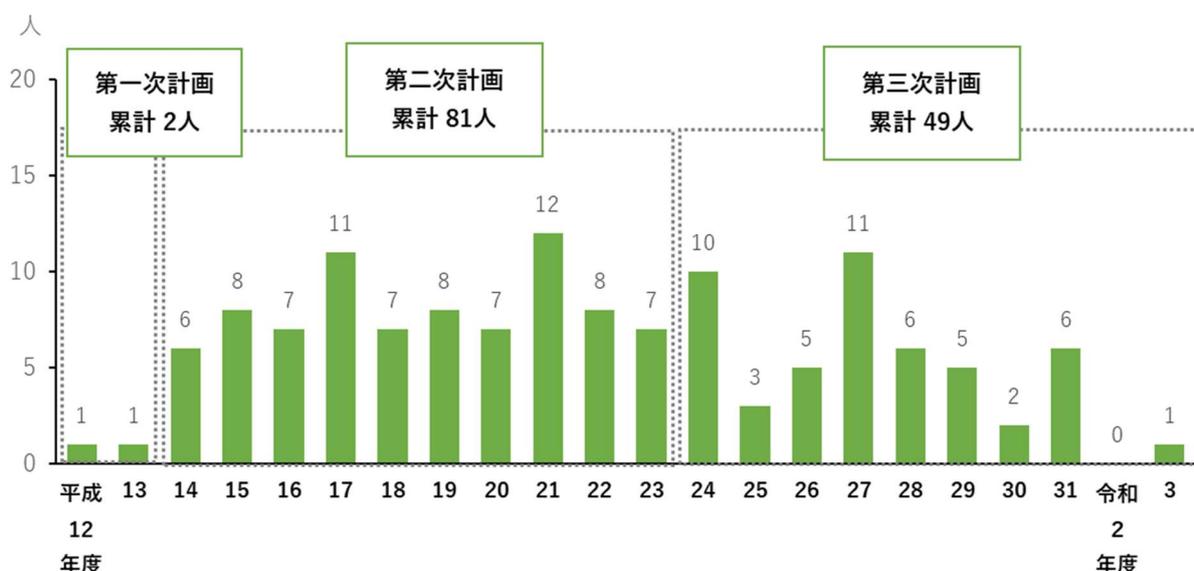
「子ども 100 ポイント・ラリー」は、小・中学生を対象に平成 10 年度に創設されました。地域の文化活動、知識習得など様々な体験を通じて“であい・ふれあい・まなびあい・<sup>あい</sup>i（私）”ポイントを獲得することで、地域交流や友だちづくり、地域活動への理解などを促進し、「わたし発見・いなぎ発見」に繋がることを目的としています。

100 ポイント達成ごとに、表彰や生涯学習だより「ひろば」に「子ども博士誕生」の掲載などを実施し、令和 3 年度までに「子ども博士」は、延べ 132 人になっていますが、令和 2 年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受賞者が減少しています。



▲子ども 100 ポイント・ラリー手帳

#### 子ども 100 ポイント・ラリーの「子ども博士号」受賞者



資料出典：稲城市教育委員会

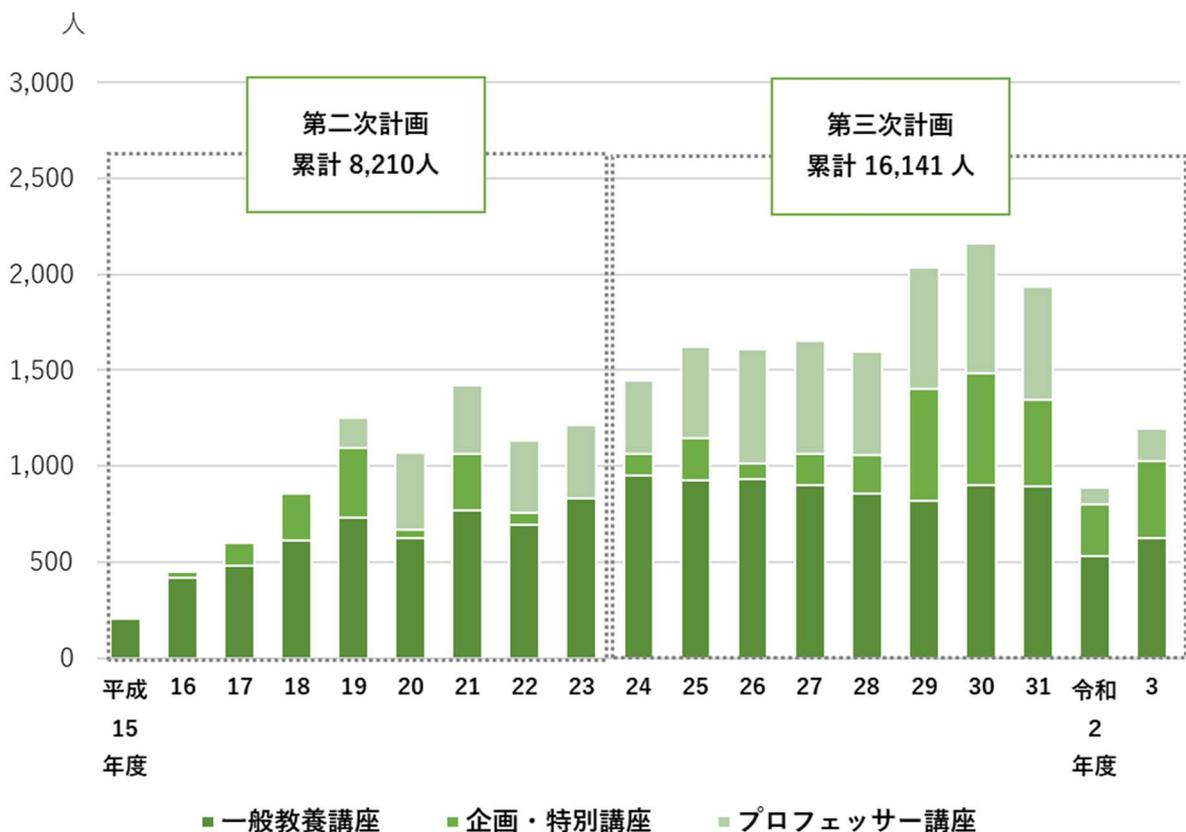
#### (4) いなぎICカレッジの充実(平成15年～)

「いなぎICカレッジ」は、市における生涯学習の中心的なシステムとして、第一次計画でそのアイデアが示され、第二次計画期間の平成15年に市民主体で運営する単位制市民大学として創設されました。創設時に「一般教養講座」を、平成18年度からは「企画講座」を、平成19年度からは近隣の大学等の協力を得て「プロフェッサー講座」を設け、受講者層の拡大を図っています。こういった「いなぎICカレッジの創設・発展」の取り組みが評価され、平成25年度には文部科学省、平成28年度には総務省の研究所より全国のモデル事業として評価いただきました。

「いなぎICカレッジ」の「IC」は「Interactive Community(相互交流する地域社会)」の頭文字を採用しており、講師が一方向的に教えるのではなく、双方向に交流する「学びあいの場」としての講座運営に努める理念を表した名称です。この理念に基づき「であい・ふれ愛・まなび」の精神をもって、講師・受講生・理事の三者が共同で講座運営をしています。

なお、令和2・3年度には、平成31年度末に始まった新型コロナウイルス感染症の流行拡大がありました。講座の一部自粛や定員枠の縮小、短期講座の開催などの工夫を通じ、実施を継続することができています。

いなぎICカレッジの受講者数



資料出典：稲城市教育委員会

## （５）子育て世代・若者・高齢者等の支援（平成 15 年～）

子育て世代や若者支援については、育児に不安や悩みを持つ親のニーズとして、身近な相談役としてのサポーターが必要とされていることから、平成 15 年度から「子育てサポーター養成講座」がスタートし、各児童館やiプラザ（幼児エリア）で子育てサポーターが活躍しています。

家庭同士をつなぐ学習支援としては、子育ての悩みを互いに相談し合える家庭教育の支援に取り組むとともに、子育てのベテランと「新米ママ・新米パパ」とをつなぎあう支援事業などにも取り組んできました。

また、年齢や学校の異なる仲間とのグループワークを通じ、積極的な活動が行えるリーダーシップ、メンバーシップを経験する「ジュニアワーカーセミナー」「青年ワーカーセミナー」や、若者（中高生）支援として、市民団体による「ホッとくつろげる居場所づくり」を目指して見守り活動が実施されています。

高齢者支援については、「人生 100 年時代セカンドライフ応援事業」などの公民館事業のほか、各公民館・iプラザなどでは、市民ボランティアが中心となり「転倒予防事業」や「デジタルディバイド\*対策事業」などが実施されています。

## （６）生涯学習だより「ひろば」の発行の充実

市の生涯学習事業や社会教育団体の情報発信等を目的に、昭和 47 年 3 月に第 1 号を発行した「社会教育だより『ひろば』」を平成 16 年 4 月から「生涯学習だより『ひろば』」と改称し、第三次計画期間中に 6 頁発行の号を 8 頁発行に充実できました。令和 4 年 12 月には 590 号を迎え、毎月約 43,000 部を発行し、市の生涯学習の推進に大きな役割を果たしています。

## （７）図書館ネットワークの整備（平成 20 年～）

近隣自治体との公共施設の相互利用として、既に協定を結んでいた府中市・多摩市・川崎市に加え、平成 20 年度には京王線沿線 7 市図書館連携に関する協定を締結し、施設の広域利用が可能となりました。この協定より、利用者は自身の行政圏域だけではなく、広域生活圏域でも蔵書の貸出や返却が可能となり、施設建設を伴わずに利便性が向上しています。



## 5 稲城市の生涯学習を取り巻く課題

「第三次稲城市教育振興基本計画」により、「人生 100 年時代の到来」「暮らしの向上と持続的発展に向けた学びの推進」「社会人の学び直し」「障害者の生涯学習の推進」の必要性が定義され、持続可能性の確保に向け、様々なジャンル・主体・地域コミュニティとの協働の必要性が確認されました。市民の意識調査等から見えてきた課題や社会情勢の変化を踏まえ、今後の課題解決に向けた施策を展開してまいります。

また「新型コロナウイルス感染症等の影響」、「SDGs\*の達成に向けた取り組み（持続可能な社会への移行）」、「超スマート社会（Society5.0）\*1の実現に向けた取り組み」などめまぐるしく変わる現代的テーマ、社会・経済情勢についても対応していかなければなりません。こうした状況の中で、市の生涯学習を推進するために本計画では、以下3つの課題解消を中心に取り組んでまいります。

### ●課題1 誰もが利用しやすい施設づくり（場を整える）

市内には5か所の文化センター、iプラザ、中央図書館、総合体育館、体験学習館等が整備され、市内全域に活動の拠点となる施設が配置されています。第四次計画では、既存施設の有効活用とICT\*2関連機器の整備を実施することにより、効果的な生涯学習の推進を図ります。

一方で、市が施設（ハード）を整えただけでは、生涯学習の“場”が整いません。市民が参加しやすい講座開催や利用しやすい施設の運営、担い手として積極的な参加・協力をいただくための機会の拡充や情報提供、課題の共有・解消を目指します。

### ●課題2 学習意欲の向上・様々な学習要望への対応（裾野の拡大）

社会の変化が厳しくなる変革時代においては、学校を卒業し、社会人となった後も、大学での学び直しや就業先での研修等で更に学びを重ね、新たな知識や技術を身に付けることが必要です。

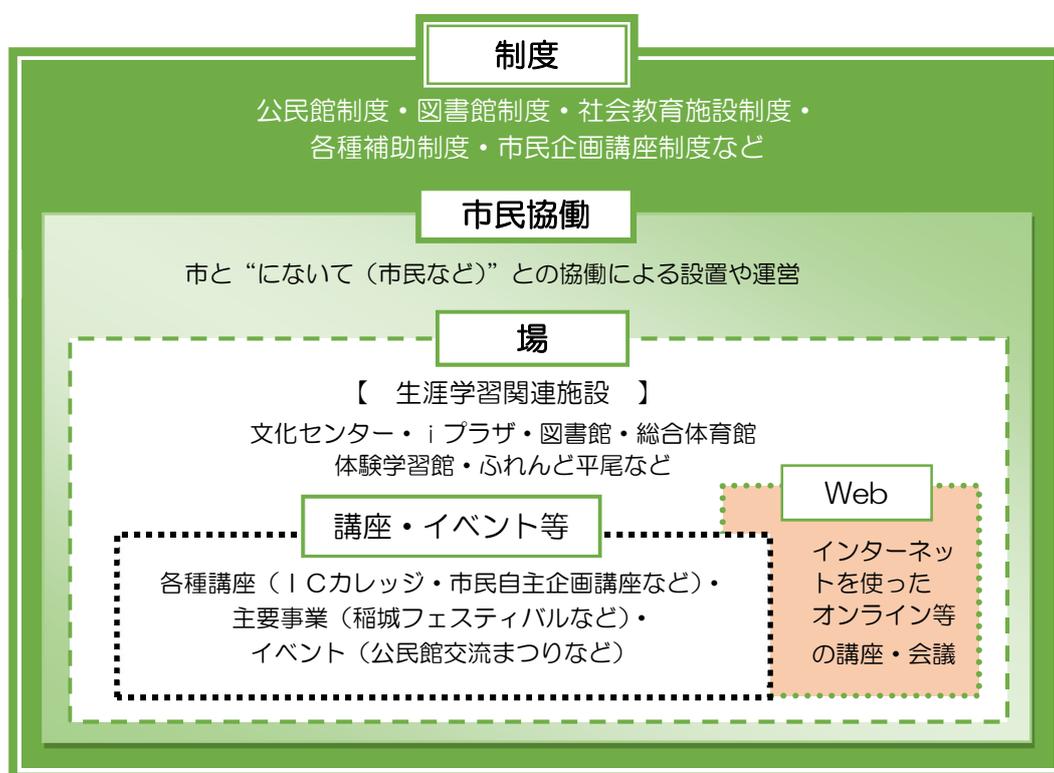
また、出産や子育てなどのライフステージ\*に対応した活躍支援や、人生 100 年時代の到来に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による経済・産業構造の変化等に対応する観点からも、「社会人の学び直し（リカレント教育\*）」の推進がより一層重要となっています。

「生涯学習を行っている市民の意識調査（P.9掲載）」では、「学習者の年齢や性別などの偏りが見られる」ほか、「生涯学習に取り組む時間が取れない」、「コロナ影響により活動がままならない」といった生涯学習に取り組む上での支障が挙げられています。学習者の課題や特性・意欲の多様性を踏まえ、いつでも・どこからでも、自分らしく学ぶことができる環境の創出や、誰もが生涯学習に取り組むことができるようになるための包摂的な取り組みが求められています。

生涯学習事業の持続可能性を高め、誰もが学びやすい環境を整えるため、既存の生涯学習のシステム・事業の活用に加え、ICT\*2の活用を通じオンライン講座などへの対応に取り組むと共に、多様な学習意欲に応えられるよう、講座などの情報提供や自主的な講座開催などの相談体制を充実することにより、学習者の裾野の拡大を図ってまいります。

### ●課題3 生涯学習を通じたまちづくり・人づくり（担い手の確保）

地球温暖化や経済環境の変化など、グローバルな課題がある一方、一部地域の高齢化や災害対策の推進などといった地域独自の課題もあります。市は市民と課題を共有しつつ、社会教育・生涯学習の観点から取り組みを進めて、人づくり・まちづくりに取り組むことが必要です。これまでの延長線では片づけられない現代的課題に対し、普及・啓発・研究などを担う社会教育・生涯学習と、意欲ある高齢者もつ知識・経験・実践力の相互作用がよりいっそう重要な時代となっています。つながりのなかった人と人、人と文化、人と活動などをコーディネートする役割を担える人材の確保やこれまで観客的だった市民が“にないて”になることを推進すべく、引き続き、地域づくりの担い手の確保を課題とします。



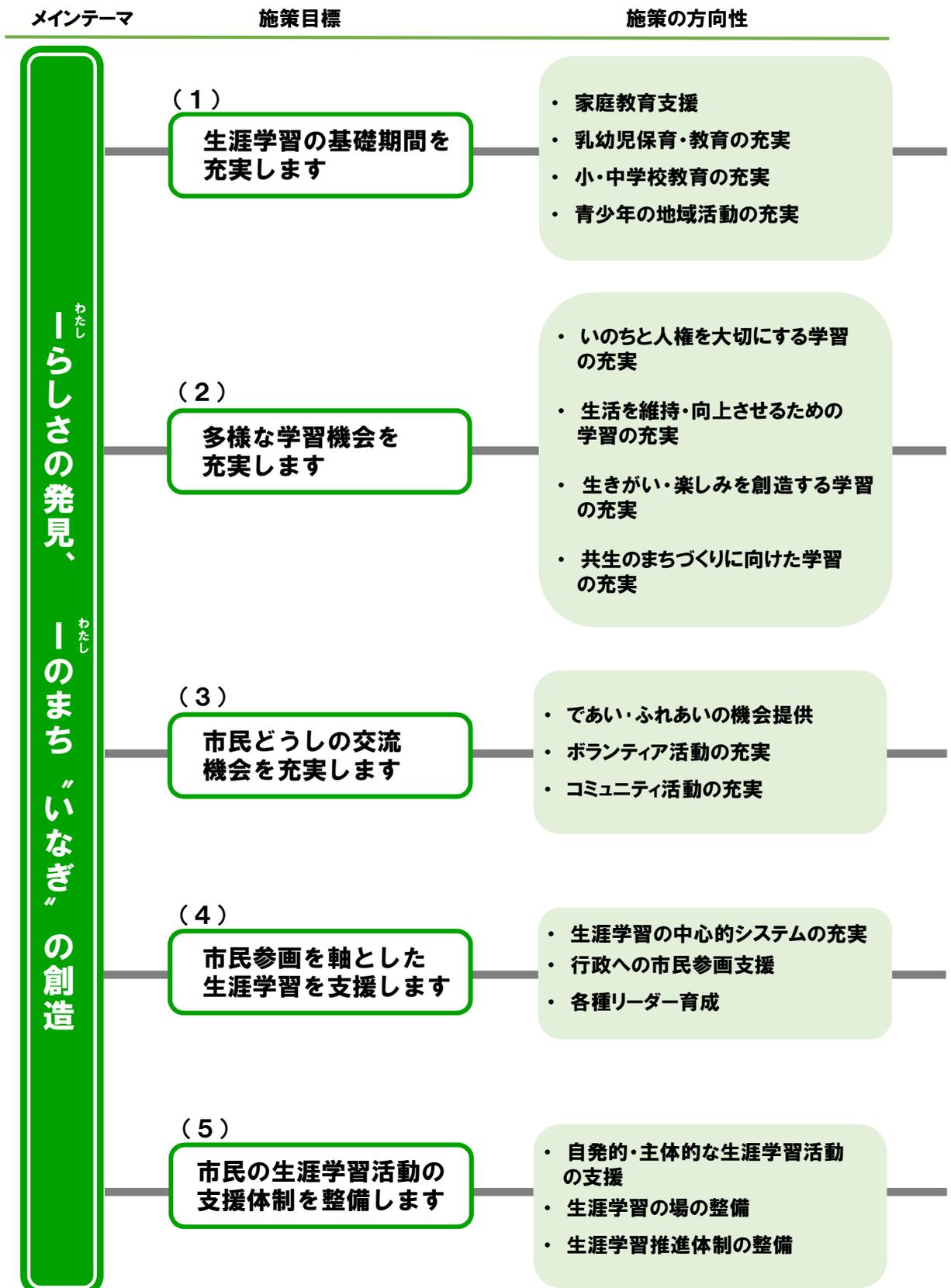
▲生涯学習を取り巻く環境は、日本国憲法・教育基本法・社会教育法・図書館法などの法律や各種答申・制度により生涯学習施設が整備され、その場を活用した市民協働により生涯学習推進を促進しています。また、“いつでも・どこでも・誰でも”生涯学習に取り組める環境を整備する観点から、ICT※2の推進が図られ、公民館などの施設を介さなくてもインターネットを利用し、意思の疎通が図れるほか、オンライン講座などを導入することにより、距離や時間帯による生涯学習の支障が解消できる時代となっています。

※1 Society5.0：狩猟社会(1.0)、農耕社会(2.0)、工業社会(3.0)、情報社会(4.0)に続く人類史上5番目超スマート社会。

※2 ICT：情報・通信に関する技術の総称（Information and Communication Technology）

# 第3章 “にないあい” のまちづくりへの取組

## 1 施策体系図



- ① 家庭教育支援事業の充実 (P28)
- ② 生涯学習における保育事業の充実 (P28)
- ③ 教育内容・教育方法の充実 (P29)
- ④ 特別支援教育の充実 (P29)
- ⑤ 教育相談の充実 (P30)
- ⑥ 教育施設の整備・充実 (P30)
- ⑦ 児童および青少年の社会教育の充実 (P30)
- ⑧ 青少年の地域ボランティア活動の充実 (P31)
- ⑨ 家庭・学校・地域の連携 (P31)

- ① 安全と防災のための学習の充実 (P32)
- ② 健康づくりのための学習の充実 (P32)
- ③ 福祉・環境・消費生活に関する学習の充実 (P33)
- ④ 人権・平和に関する学習の充実 (P33)
- ⑤ 教養を高めるための学習の充実 (P34)
- ⑥ 国際化・情報化に対応する学習の充実 (P34)
- ⑦ 職業能力の向上をめざす学習の充実 (P34)
- ⑧ 自己探求・自己表現のための学習の充実 (P34)
- ⑨ 文化・芸術活動の充実 (P35)
- ⑩ スポーツ・レクリエーション活動の充実 (P35)
- ⑪ 趣味・娯楽活動の充実 (P36)
- ⑫ 男女共同参画社会実現のための学習の充実 (P36)
- ⑬ 豊かな福祉社会実現のための学習の充実 (P36)
- ⑭ 外国人との共生のための学習の充実 (P37)
- ⑮ ふるさと稲城についての学習の充実 (P37)

- ① 各種の交流機会の充実 (P38)
- ② 姉妹都市との交流の充実 (P38)
- ③ 各種ボランティア講座の充実 (P39)
- ④ ボランティア活動の支援体制の充実 (P39)
- ⑤ 地域イベントの充実 (P39)
- ⑥ 地域活動への支援の充実 (P39)

- ① いなぎICカレッジの充実 (P40)
- ② 生涯学習活性化の工夫 (P40)
- ③ まちづくり情報提供の促進 (P41)
- ④ 各種の人材育成講座の充実 (P41)
- ⑤ 人材活用システムの充実 (P41)

- ① 学習活動の支援体制の充実 (P42)
- ② 情報提供・相談体制の充実 (P42)
- ③ 学習成果を生かせる場の提供 (P43)
- ④ 生涯学習に参加しにくい人への配慮 (P43)
- ⑤ 生涯学習関連施設の整備 (P44)
- ⑥ 学習の場の広がりへの対応 (P44)
- ⑦ 広報・広聴活動の充実 (P45)
- ⑧ 行政内の組織体制の整備 (P45)
- ⑨ 職員の資質向上 (P45)

**学習環境「場」の整備**

- 各種公共施設の維持・管理
- 郷土資料室の充実
- ICTの推進・環境整備

**学習者の裾野の拡大**

- 市の学習機会の提供
- 市以外の学習機関の紹介と連携
- Web配信講座の実施

**地域づくりの担い手の確保**

- 担い手の参加推進
- 子ども・若者サポーター養成プロジェクトの継続
- シニアサポーター養成プロジェクト推進

市民が活躍する「にないあい」のまちづくり

## 2 重点プロジェクト

本計画では、課題の解決に向けて「市民が活躍する“にないあい”のまちづくり」のテーマを実現するべく、以下の3つの重点プロジェクトを設定いたしました。

### 【 稲城市の生涯学習重点プロジェクト 】



## (1) 学習環境（場）の整備

### ① 各種公共施設の維持・管理

稲城市は中学校区ごとに文化センター（iプラザ含む）があり、公民館・図書館・児童青少年施設などが整備されています。利用者が安全に安心して利用できるよう、引き続き施設の適切な管理とサービスの維持に努めます。また、市民一人ひとりが自ら、自発的・主体的に学習活動を行うことができるよう、生涯学習推進体制や施設整備に努めます。

### ② 郷土資料室の充実

ふれんど平尾内にある郷土資料室では、日常的な来訪者に対応できる文化財専門職員の常駐化を図り、調査研究作業などを行ってまいります。また、郷土資料室に向向くことなく、文化財などを知ることができるように、文化財資料等のデジタルアーカイブ<sup>※</sup>化の推進に努めます。

### ③ ICT<sup>※</sup>推進を通じた Web 配信や受講の環境整備

i プラザでは、令和 4 年度から Wi-Fi<sup>※</sup>ルーターの貸出しサービスを開始しています。オンライン講座の開催や施設利用者のインターネット環境ニーズに応えるため、公民館など公共施設での Wi-Fi<sup>※</sup>環境整備に努めます。

#### 【コラム】

#### 稲城市郷土資料室について

平成 17 年にふれんど平尾に開館した郷土資料室は、歴史展示室 1、歴史展示室 2、民俗展示室、標本展示室の 4 部屋を公開しており、来館した方々へ稲城市の歴史と文化財を紹介しています。

国指定重要無形民俗文化財の「江戸の里神楽」や東京都指定有形文化財である「瓦谷戸窯跡群出土遺物」等、稲城市の歴史や文化に関する展示をしています。市のホームページでは、多くの方に稲城の歴史を知っていただくために、文化財ノートの公開や資料のデジタル化を進めています。



▲歴史展示室 1 の様子



▲民俗展示室の様子

## (2) 学習者の裾野の拡大

“であい・ふれあい・まなびあい”の精神に基づき、地域における多様な学習機会や市民同士の交流機会の充実を図ります。

### ① 稲城市の様々な学習機会提供

学習できる環境の充実を図るため、だれもがいきいき学び続けられるための支援として、いなぎICカレッジ講座、公民館主催講座、市民企画講座、iプラザ主催講座、生涯学習宅配便講座などの内容充実に努めます。また、関係各課と学習・啓発的事業の連携に努めます。

### ② 稲城市行政以外の様々な学習機関紹介と連携

市民が学習できる学習機関の情報提供・相談体制や市民の学習活動の支援体制を図るため、駒沢女子大学（市内）や近隣大学等の公開講座、広域的な学習講座（近隣市の生涯学習講座・多摩市民塾・東京雑学大学など）、各団体の主催講座の紹介や連携に努めます。

### ③ ICT\*推進を通じた Web 配信講座の実施

学習者や講師の参加の利便性を高めることができる講座実施として、いなぎICカレッジやiプラザ主催事業などでオンライン講座を実施しています。

より参加しやすい環境の実現に向け、オンライン講座などの実施により、自宅や身近なサテライト会場での受講環境の整備に努めます。

#### 【コラム】

#### Web 配信講座の開催について

インターネットの活用により、オンライン講座や講演を参加者が密を避け、また、遠方に出かけることなく学習活動を行えるようになりました。これらの取組みにより学習の継続、裾野の拡大が期待できます。

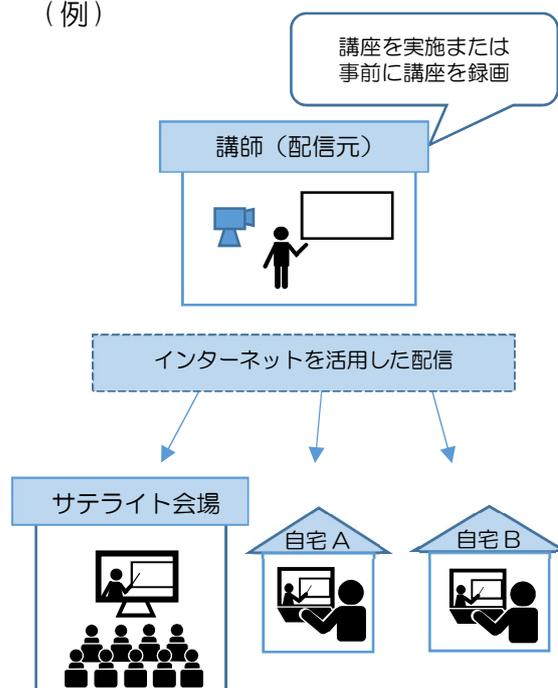
#### ○自宅での受講

ライブ配信または録画配信講座を自由な時間・場所で受講ができます。

#### ○サテライト会場での受講

ライブ配信または録画配信講座を近隣施設で受講できます。オンライン参加の体験や交流ができ、自宅にインターネット環境がない方、設定が困難な方が参加できます。

(例)



### (3) 地域づくりの担い手の確保

#### ① 担い手の参加推進

人材バンク登録者などが、いなぎICカレッジや生涯学習宅配便講座、公民館主催講座、iプラザ主催「生涯学習講座」、小・中学校での講師デビューなど活躍できる活動支援に努めます。また、各種講座などの参加者拡大を図り「生涯学習推進サポーター」の拡大を図ります。そして、関係各課や駒沢女子大学（教員・学生）などと連携した、担い手の確保にも努めます。

#### ② 子ども・若者サポーター養成プロジェクトの継続

iプラザなどで、子ども・若者サポーターとして、定例的に子ども・若者の学習支援や話し相手などを市民有志の方々が担ってくださっています。引き続き、これら担い手の皆様の活動支援に努めます。

#### ③ シニアサポーター養成プロジェクトの推進

これまでの人生経験などを活かし、里山保全やエコエネルギーの研究実践など、地域社会貢献活動を担ってくださっている団塊の世代やアクティブシニア\*の方々が活動されています。地域活動やボランティア活動など、地域の多様な活動へ参加しやすい環境づくりを図り、活動に関する支援の推進に努めます。

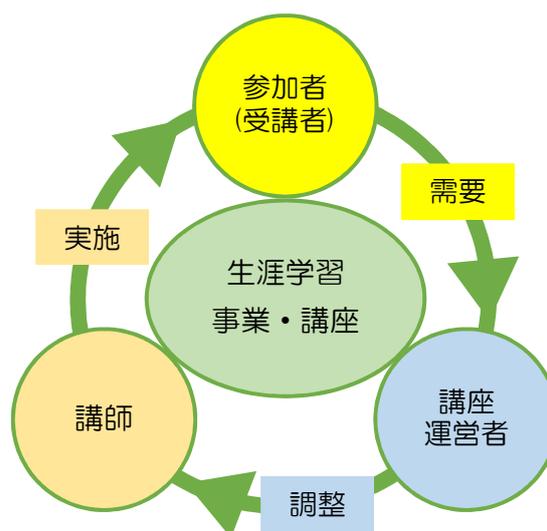
#### 【コラム】

##### 受講者は重要な「生涯学習推進サポーター」

その多くが公益的な意義を持ち、組織的な教育として実施される「社会教育」と違い、「生涯学習」は自由意志による自発的な学習となります。

その観点から、生涯学習の各種事業・講座は、受講者の需要に基づき開催されることとなり、講師・運営者は元より、参加者・受講者がいること・需要があることがその実施を左右します。

そのため、参加者・受講者である皆さんは、生涯学習推進の鍵を握っている生涯学習の推進サポーターであるといえます。



## 第4章 市民の生涯学習支援施策

### 1 稲城市が行う主な生涯学習事業

#### (1) 生涯学習の基礎期間を充実します

##### ・家庭教育支援

##### ① 家庭教育支援事業の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
子育て講座事業	子育てと親の生き方について学ぶ。	生涯学習課
母子保健事業	出産・育児を支援し、幼児の健康増進を図る。	健康課
親子ふれあい事業	親子のふれあいを通じて、家庭での子育てを支援する。	生涯学習課
幼児期読書支援事業	絵本の読み聞かせ、おはなし会などの事業を通して本の楽しさを知る機会とする。	図書館課
ブックスタート事業	読み聞かせによる親子の触れ合いを支援する。	図書館課
読書通帳	図書館で借りた資料を読書通帳に記帳することで、楽しみながら読書習慣を身に付ける。	図書館課
保育所育児相談事業	地域の未就学児と保護者等を対象に、保育所で保育士、看護師、栄養士等による専門的な子育てについての相談事業を実施する。	子育て支援課
保育所地域活動事業	保育所を利用し、地域の子育て家庭に対する総合的な子育て支援施策を推進することにより、子育て家庭の育児を支援する。	子育て支援課
あそびの広場事業	地域の乳幼児家庭を対象に、あそびの広場で、育児相談・栄養相談・子育て情報提供等を行う。	子ども家庭支援センター課

##### ・乳幼児保育・教育の充実

##### ② 生涯学習における保育事業の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
公民館保育事業	公民館保育室を活用した保育事業。	生涯学習課
iプラザ保育事業	iプラザ保育室を活用した保育事業。	児童青少年課

## ・小・中学校教育の充実

### ③ 教育内容・教育方法の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
人権教育の推進	人権尊重の理念を定着させるため、推進委員会を組織し、学校関係者の研修・啓発のための事業を展開する。	指導課
社会性を育む教育の推進	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開する。	指導課
国際理解教育の推進	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進する。	指導課
学習指導の改善・充実	児童・生徒に、「生きる力」を育むために、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養を図る。	指導課
読書活動の充実	読書を通して、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、生きる力を身に付ける。	指導課
生活指導・進路指導の充実	児童・生徒が意欲的に学校生活を過ごし、主体的な進路選択ができるよう指導体制の充実を図る。	指導課
健康・安全指導の充実	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、資料の作成や活動の場の整備充実を図る。	指導課
福祉教育の推進	福祉に関わる体験を通して思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行う。	指導課
環境教育の推進	身近な環境に関心を持ち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できる児童・生徒を育成する。	指導課
交通安全教育・防災教育の推進	警察と連携し、交通ルールを理解や自転車乗車中の安全対策を身に付ける。様々な災害を想定した防災教育や地域と連携した防災訓練を実施する。	指導課
情報教育の推進	情報手段の基本的な操作の習得やプログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等の情報活用能力を育成する。	指導課
特色ある学校づくりの推進	各学校が児童・生徒および地域環境を踏まえ、創意工夫し、SDGs <sup>※</sup> の達成に向けたE S Dの視点を生かした特色ある教育活動を推進できるよう支援する。	指導課
教員の研修・研究の充実	教員の資質向上・授業改善を目指して研修事業を充実するとともに、各校の研修・研究を支援する。	指導課
教育センター機能の充実	教育情報・資料の提供、適応指導などを通して教育の充実・振興を図る。	指導課
関係機関との連携・協力事業の推進	関係機関の持つ教育機能・教育資源の学校教育での活用や行事参加を促進し、児童・生徒の豊かな自己実現を支援する。	指導課

### ④ 特別支援教育の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
特別支援教育就学奨励費の支給	障害のある児童・生徒の保護者に対し、所得に応じ、就学奨励費を支給することで、特別支援教育の普及奨励を図る。	学務課
特別支援教育の充実	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の就学や特別支援教育上の諸課題を解決するため様々な整備・充実を図る。	指導課
特別支援教育相談	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学や特別支援教育上の諸課題を解決するため、相談活動の充実を図る。	指導課

## ⑤ 教育相談の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
教育相談	いじめ、不登校、就学、進路などの相談業務の充実を図る。学校の教育相談体制を支援する。	指導課
教育相談体制の支援	学校における児童・生徒理解の深化、教育相談活動の充実を図る。心の教育の充実を図る。	指導課

## ⑥ 教育施設の整備・充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
学校施設の整備	校舎等の学校施設については、計画的な改修と維持補修などにより、安全・安心を確保するとともに、環境面に配慮した学校施設などの整備を推進する。 都市基盤整備の進展等に伴う、児童・生徒の増加に対して、校舎の増改築等の必要な対策を講じる。	教育総務課
小・中学校のICT※環境の整備	情報手段の基本的な操作の習得やプログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等の情報活用能力を育成するため、学校ICT※環境を整備する。	教育総務課 指導課

## ・青少年の地域活動の充実

### ⑦ 児童および青少年の社会教育の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
放課後子ども教室事業	児童の放課後の安全・安心な居場所づくりを推進する。	生涯学習課
児童館事業	子どもに自由な遊び場を提供し、心身の健全育成・情操を豊かにすることを目的とした事業を行う。	児童青少年課
少年消防クラブ	社会的徳性を養い、防火・防災思想の普及と社会奉仕、礼儀正しい少年少女の育成を図る。	消防本部予防課
子どもエコクラブ	環境への理解と関心を高めるための学習の場を提供する。	緑と環境課
環境学習	身近なところからの環境学習を通して環境への関心を高める。	緑と環境課 生活環境課
消費者講座	自立した消費者の育成を目指し、講座を開催する。	市民協働課
稲城ふれあいの森	稲城ふれあいの森において、異年齢集団による自然体験・社会体験の機会を提供する。	児童青少年課
YA（ヤングアダルト）※イベント	青少年の知識や興味の幅を広げる場を提供する。	図書館課
稲城フェスティバル	日米それぞれでの音楽バンドのステージなどの催し物を通して、青年同士の交流と仲間づくりを図る。	生涯学習課
中高生の居場所づくり	児童館を拠点の1つとし、中高生の居場所を提供する。	児童青少年課
青少年育成地区委員会	異年齢の子どもたちが集団の中で様々な体験ができる場である、盆踊りや運動会等の地域行事、キャンプ、賽の神行事、農業体験、ラジオ体操等の活動を通じ、青少年の健全育成に関わっている。	児童青少年課

⑧ 青少年の地域ボランティア活動の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
青年ワーカーセミナー	高校生以上の青年を対象に、地域活動などに積極的に取り組む青年を養成する。	児童青少年課
ボランティア学習の充実	ボランティアの体験学習を通じて、地域社会との関係をつくるきっかけの場とする。	図書館課
福祉教育の推進 【再掲】	福祉に関わる体験を通して思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行う。	指導課

⑨ 家庭・学校・地域の連携

施策・事業名	目的・内容	担当課
地域の教材化の推進	地域の人材、自然、伝統など恵まれた教育環境を生かす。	指導課
地域教育懇談会	家庭・学校・地域が連携・協力を図り、地域社会に根ざした教育力を再生し、健全育成を図る。	指導課 関係各課
学校運営協議会	保護者、教職員、地域住民からなる協議会により、学校や地域が抱える課題について熟議し、地域とともにある学校づくりを展開していく。	指導課
地域学校協働活動事業	地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支えていく活動を実施する。	指導課 関係各課
としょかん 1ねんせいパック	文字を学び始めた小学1年生に対する読書のきっかけ作りのためのおすすめ本リストや図書館・読書通帳の登録申請書等をパックにして配付。	図書館課

【コラム】

読書推進の取り組みについて

「読書通帳の発行」

貸出日・タイトル・著者名などを記録できる本物の通帳にそっくりな読書通帳です。

市内在住・在学の中小学生以下の方は無料で発行できます。楽しみながら読書習慣を身に付けられると利用者にも好評です。



▲読書通帳サービス

## (2) 多様な学習機会を充実します

### ・いのちと人権を大切に学習の充実

#### ① 安全と防災のための学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
災害対策訓練事業	災害時における自助、共助となる自主防災組織等の協力体制の向上を図る。	消防本部防災課
救命講習	いざというとき、大切な家族や隣人の命を救うため、心肺蘇生法等の応急手当の知識と技術を身に付ける。	消防本部警防課
少年消防クラブ 【再掲】	社会的徳性を養い、防火・防災思想の普及と社会奉仕、礼儀正しい少年少女の育成を図る。	消防本部予防課
交通安全教育・防災教育の推進 【再掲】	警察と連携し、交通ルールを理解や自転車乗車中の安全対策を身に付ける。様々な災害を想定した防災教育や地域と連携した防災訓練を実施する。	指導課

#### ② 健康づくりのための学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
健康教育事業	心と体の健康に関する正しい知識の普及を図り、自らの健康を自ら守るという自覚を高める。	健康課
稲城市民憲章 ふれあい歩こう会	歩くことによりコミュニケーションを豊かにし、あわせて体力作りを目指す。	市民協働課
健康・安全指導の充実 【再掲】	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、資料の作成や活動の場の整備充実を図る。	指導課
いなぎあるくマップづくり	市内の名所・旧跡、自然にふれあうことのできるウォーキングコースをマップとして作り提供。	スポーツ推進課
介護予防に関する講座	健康寿命の延伸や介護予防に資する情報提供。運動や栄養、社会参加などの重要性や具体的な体操方法等について紹介する。	高齢福祉課
認知症の予防や理解に関する講座	健康寿命の延伸や認知症の人が住みやすい地域づくりに資するよう、認知症の予防や症状、対応の仕方や工夫について紹介する。	高齢福祉課
在宅医療に関する講座	介護が必要になっても住みやすい地域づくりに資するよう、訪問診療や訪問看護等の在宅医療という社会資源があることを紹介する。	高齢福祉課



©K.Okawara・Jet Inoue

## ③ 福祉・環境・消費生活に関する学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
家庭介護教室	家庭における介護方法の学習。	高齢福祉課
ボランティア学習の充実【再掲】	ボランティアの体験学習を通じて、地域社会との関係をつくるきっかけの場とする。	図書館課 生涯学習課
福祉教育の推進【再掲】	福祉に関わる体験を通して思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行う。	指導課
稲城ふれあいの森【再掲】	稲城ふれあいの森において、異年齢集団による自然体験・社会体験の機会を提供する。	児童青少年課
市民農園	農業と市民の交流の場、農地の保全策として、市民農園の充実を図る。	経済課
環境教育の推進【再掲】	身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できる児童・生徒を育成する。	指導課
ごみ減量・再資源化市民啓発事業	環境問題の1つとしてごみ問題やリサイクルの重要性・必要性の認識を高める。	生活環境課
子どもエコクラブ【再掲】	環境への理解と関心を高めるための学習の場を提供する。	緑と環境課
環境学習【再掲】	身近なところからの環境学習を通して環境への関心を高める。	緑と環境課 生活環境課
消費者講座【再掲】	自立した消費者の育成を目指し、講座を開催する。	市民協働課
かしこく健やかな稲城くらしフェスタ	消費者団体の研究学習成果を発表する。市民の消費者意識を啓発し、消費生活の安定向上を図る。	市民協働課

## ④ 人権・平和に関する学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
平和コンサート	平和に対する意識を高めるための平和事業の一環として、コンサートを実施。	市民協働課
人権教育の推進【再掲】	人権尊重の理念を定着させるため、推進委員会を組織し、学校関係者の研修・啓発のための事業を展開する。	指導課
人権問題啓発	基本的人権についての理解を深める。	市民協働課
女性対象講座	男女平等の視点を大切にするとともに、主体的な女性の生き方を探る。	生涯学習課
女と男のフォーラム	男女共同参画社会の実現のための学習機会を提供する。	市民協働課
市民憲章推進事業	心豊かな暮らし、郷土愛を育む。	市民協働課

・生活を維持・向上させるための学習の充実

⑤ 教養を高めるための学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
講演会	著者等を講師にした講演会を開催し、市民の興味に応え、読書への関心を高める。	図書館課
資料展示	社会で関心を持たれるテーマ、地域で課題となっているテーマなどに沿った図書を展示し、幅広い情報を提供するとともに、読書への関心を高める。	図書館課
高齢者対象講座	学習を通じて、高齢者の生きがいづくりと仲間づくりを目指す。	生涯学習課
障害者青年学級	知的障害のある青年の自立意欲の向上とボランティアスタッフとの交流による仲間づくりを目指す。	生涯学習課

⑥ 国際化・情報化に対応する学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
国際理解教育の推進【再掲】	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進する。	指導課
国際交流事業	市民の日常的な国際交流を盛んにするため、お互いの言語や文化などを学びあう機会を設ける。	市民協働課
情報教育の推進【再掲】	情報手段の基本的な操作の習得やプログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等の情報活用能力を育成する。	指導課

⑦ 職業能力の向上をめざす学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
女性の自立意識・職業意識の啓発	女性の自立意識・職業意識の高揚を図り、自分の生き方の選択肢の1つとして、「職業・就職」を考える。	生涯学習課
教員の研修・研究の充実【再掲】	教員の資質向上・授業改善を目指して研修事業を充実するとともに、各校の研修・研究を支援する。	指導課

・生きがい・楽しみを創造する学習の充実

⑧ 自己探求・自己表現のための学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
生活指導・進路指導の充実【再掲】	児童・生徒が意欲的に学校生活を過ごし、主体的な進路選択ができるよう指導体制の充実を図る。	指導課

⑨ 文化・芸術活動の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
I のまちいなぎ市民まつり事業文化祭・芸術祭部門補助金	市民の芸術・文化による交流を図ることを目的とした、稲城市民文化祭・芸術祭の実施について、実行委員会へ補助を行う。	生涯学習課
稲城寄席	日本の伝統芸能を身近な場所で気軽に楽しむ。	生涯学習課
平和コンサート【再掲】	平和に対する意識を高めるための平和事業の一環として、コンサートを実施。	市民協働課
視聴覚活動事業	映画会を行う。	生涯学習課
健康・安全指導の充実【再掲】	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、資料の作成や活動の場の整備充実を図る。	指導課
各種コンサート	市民が芸術・文化にふれ、交流できる場とする。	生涯学習課
稲城市自主企画事業の会場使用料補助金	芸術及び文化の振興に寄与することを目的として発表を行う事業で、入場予定者数が多く市の施設では実施が困難である団体を対象に、駒澤学園記念講堂を使用する費用の一部を補助する。	生涯学習課
サロンコンサート事業補助金	市民が芸術・文化にふれ、交流できる場を提供することを目的として、主催者へ補助を行う。	生涯学習課
大空町芸術文化交流事業補助金	姉妹都市自治体との交流と芸術文化の向上を図ることを目的として、主催者へ補助を行う。	生涯学習課
青少年芸術文化活動育成事業費補助金	青少年を中心にした文化活動を活発化していくため、活動団体へ補助を行う。	生涯学習課
部活動指導の充実	学年を越えて自主的・自発的な活動を通して、スポーツや文化等に親しむ態度を養うとともに人間関係の育成を行う。	指導課

⑩ スポーツ・レクリエーション活動の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
スポーツ教室事業	スポーツへの関心の向上と健康維持・増進を目指す。	スポーツ推進課
障害者スポーツ教室	身体・知的障害者にスポーツを行う機会を提供する。	スポーツ推進課
高齢者健康づくり	60歳以上の方の健康維持・体力づくり。	スポーツ推進課
稲城市スポーツフェアの開催	スポーツの日に中央公園内体育施設でイベントを開催し、スポーツに親しむきっかけとする。	スポーツ推進課
各種体育大会の開催	スポーツ振興を図る。	スポーツ推進課
日米親善稲城市民ゴルフ大会	米軍施設の地元還元と日米親善のため、多摩ヒルズゴルフコースで年1回開催する。	スポーツ推進課
稲城市民憲章ふれあい歩こう会【再掲】	歩くことによりコミュニケーションを豊かにし、あわせて体力作りを目指す。	市民協働課
部活動指導の充実【再掲】	学年を越えて自主的・自発的な活動を通して、スポーツや文化等に親しむ態度を養うとともに人間関係の育成を行う。	指導課

## ⑪ 趣味・娯楽活動の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
一般教養講座	幅広い教養を身に付け、共感しあえる地域づくりを目指す。	生涯学習課
高齢者対象講座 【再掲】	学習を通じて、高齢者の生きがいづくりと仲間づくりを目指す。	生涯学習課

## ・共生のまちづくりに向けた学習の充実

### ⑫ 男女共同参画社会実現のための学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
女性対象講座 【再掲】	男女平等の視点を大切にするとともに、主体的な女性の生き方を探る。	生涯学習課
男女平等推進啓発	男女共同参画社会の実現のため、男女平等推進に関する啓発活動を行う。	市民協働課
女と男のフォーラム 【再掲】	男女共同参画社会の実現のための学習機会を提供する。	市民協働課

### ⑬ 豊かな福祉社会実現のための学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
障害者青年学級 【再掲】	知的障害のある青年の自立意欲の向上とボランティアスタッフとの交流による仲間づくりを目指す。	生涯学習課
家庭介護教室 【再掲】	家庭における介護方法の学習。	高齢福祉課
ボランティア学習の充実 【再掲】	ボランティアの体験学習を通じて、地域社会との関係をつくるきっかけの場とする。	図書館課 生涯学習課
福祉教育の推進 【再掲】	福祉に関わる体験を通して思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行う。	指導課

## ⑭ 外国人との共生のための学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
日米親善稲城市民ゴルフ大会【再掲】	米軍施設の地元還元と日米親善のため、多摩ヒルズゴルフコースで年1回開催する。	スポーツ推進課
外国人のための日本語教室	外国人が生活に必要な日本語を学び、講師である日本語ボランティアとの交流を通して互いの文化・生活習慣を学ぶ。	生涯学習課
国際理解教育の推進【再掲】	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進する。	指導課
国際交流事業【再掲】	市民の日常的な国際交流を盛んにするため、お互いの言語や文化などを学びあう機会を設ける。	市民協働課
日本語ボランティア養成講座	外国人に日本語を教えるボランティアを養成する。	生涯学習課

## ⑮ ふるさと稲城についての学習の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
郷土芸能の継承	郷土芸能の継承・保存のため「郷土芸能保存会」を支援する。	生涯学習課
文化財講座	市や市の周辺地域の文化財をテーマに講演会を開催。文化財保護意識の高揚を図る。	生涯学習課
郷土資料室・古民家事業	文化財の展示・公開を通して文化財の必要性、親しみを育み、文化財保護の必要性の理解を図る。	生涯学習課
稲城市民憲章 ふれあい歩こう会 【再掲】	歩くことによりコミュニケーションを豊かにし、あわせて体力作りを目指す。	市民協働課
社会性を育む教育の推進【再掲】	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開する。	指導課
地域の教材化の推進【再掲】	地域の人材、自然、伝統など恵まれた教育環境を生かす。	指導課



© K.Okawara・Jet Inoue

### (3) 市民どうしの交流機会を充実します

#### ・であい・ふれあいの機会提供

##### ① 各種の交流機会の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
Iのまちいなぎ市民まつり	5つの部門のイベントを合同で開催し、祭り全体の賑わいを創出すると共に、市民間の新たな交流を促進する。	市民協働課
Iのまちいなぎ市民まつり事業文化祭・芸術祭部門補助金【再掲】	市民の芸術・文化による交流を図ることを目的とした、稲城市民文化祭・芸術祭の実施について、実行委員会へ補助を行う。	生涯学習課
稲城フェスティバル【再掲】	日米それぞれでの音楽バンドのステージなどの催し物を通して、青年同士の交流と仲間づくりを図る。	生涯学習課
二十歳の式典	二十歳になった方を対象に、大人になったことを自覚し、自らが責任ある生き方をしていこうとすることを祝い励ます。	生涯学習課
日米親善稲城市民ゴルフ大会【再掲】	米軍施設の地元還元と日米親善のため、多摩ヒルズゴルフコースで年1回開催する。	スポーツ推進課
稲城市民憲章ふれあい歩こう会【再掲】	歩くことによりコミュニケーションを豊かにし、あわせて体力作りを目指す。	市民協働課
障害者青年学級【再掲】	知的障害のある青年の自立意欲の向上とボランティアスタッフとの交流による仲間づくりを目指す。	生涯学習課
国際交流事業【再掲】	市民の日常的な国際交流を盛んにするため、お互いの言語や文化などを学びあう機会を設ける。	市民協働課
稲城市スポーツフェアの開催【再掲】	スポーツの日に中央公園内体育施設でイベントを開催し、スポーツに親しむきっかけとする。	スポーツ推進課
産業まつり	市内の中小企業や農業に対する市民の理解を高める。	経済課
稲城ふれあいの森【再掲】	稲城ふれあいの森において、異年齢集団による自然体験・社会体験の機会を提供する。	児童青少年課
市民農園【再掲】	農業と市民の交流の場、農地の保全策として、市民農園の充実を図る。	経済課
「本はともだち いなぎの子」読書イベント	読み聞かせや講演会など、子どもたちや子どもの読書活動に関係する方々が集うイベント。	図書館課

##### ② 姉妹都市との交流の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
大空町教育交流	他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進する。	指導課
姉妹都市・友好都市契約旅館利用助成事業	姉妹都市・友好都市交流の推進のため、市民などが姉妹都市・友好都市の契約旅館等を利用する際、費用の一部を助成する。	市民協働課
大空町芸術文化交流事業補助金【再掲】	姉妹都市自治体との交流と芸術文化の向上を図ることを目的として、主催者へ補助を行う。	生涯学習課

## ・ボランティア活動の充実

### ③ 各種ボランティア講座の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
ボランティア学習の充実【再掲】	ボランティアの体験学習を通じて、地域社会との関係をつくるきっかけの場とする。	図書館課
福祉教育の推進【再掲】	福祉に関わる体験を通して思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行う。	指導課
日本語ボランティア養成講座【再掲】	外国人に日本語を教えるボランティアを養成する。	生涯学習課

### ④ ボランティア活動の支援体制の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
図書館ボランティアの活動支援	図書館ボランティアに各種の支援活動を行う。	図書館課

## ・コミュニティ活動の充実

### ⑤ 地域イベントの充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
文化センターまつり	関連する部署との協力の上、公民館で活動する団体が日頃の学習活動の成果を発表し、地域との交流を図る。	生涯学習課

### ⑥ 地域活動への支援の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
郷土芸能の継承【再掲】	郷土芸能の継承・保存のため「郷土芸能保存会」を支援する。	生涯学習課
自治会活動に対する支援	自治会が自主的な活動を安定的に実施できるように支援する。	総務契約課
地区体育振興会への補助	振興会が各地区においてスポーツ事業を実施し、自主的なスポーツ・レクリエーションを推進できるよう、運営補助を行う。	スポーツ推進課
青少年育成地区委員会への支援	自然体験・農業体験・伝統文化（賽の神・お祭り）の継承などを通じた青少年健全育成への支援。	児童青少年課
介護支援ボランティア制度	高齢者の介護支援ボランティア活動を奨励・支援することで高齢者自身の介護予防を進める。	高齢福祉課



©K.Okawara・Jet Inoue

## (4) 市民参画を軸とした生涯学習を支援します

### ・生涯学習の中心的システムの充実

#### ① いなぎICカレッジの充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
いなぎICカレッジの充実	生涯学習事業の中心的役割を果たす「いなぎICカレッジ」の市民講師による「一般教養講座」と近隣大学の教授等による「プロフェッサー講座」の実施等を支援する。	生涯学習課

#### ② 生涯学習活性化の工夫

施策・事業名	目的・内容	担当課
生涯学習「単位制」システムの充実	子ども100ポイント・ラリーは、100ポイントを目指すシステム。いなぎICカレッジは、単位制市民大学として、市民の自主的・計画的な学習を支援。	生涯学習課
市民講師システムの整備	市民の学習成果を生かし、市民どうしの「まなびあい」を支援する場として、市民講師システムを整備する。	生涯学習課
市民企画提案講座	主催講座の企画を市民から募集し、生涯学習活動の振興を図る。提案者と公民館が共に作り上げていく講座。	生涯学習課
生涯学習宅配便講座	講座を希望する市民の団体に、講師を派遣して学習支援を行う。	生涯学習課
オンライン講座拡充	学習意欲があっても、様々な事情で講座に参加できない方の学習機会を支援する。オンライン講座・ハイブリット講座・サテライト会場型講座などの実現に努める。	生涯学習課

### 【コラム】

#### いなぎICカレッジ ～単位制市民大学～

「いなぎICカレッジ」は、企画・運営を市民ボランティア理事会が担うことで市民ニーズにあった身近で学びたいことが学べる環境を提供する市民大学です。

単位認定は、6ヵ月を1期とし、日程の3分の2以上の講座出席で修了証（1単位）を授与します。取得の単位が12単位に達した受講生に対し、「生涯学習市民修士（一般教養講座課程）」・「生涯学習市民修士（プロフェッサー講座課程）」、30単位で「生涯学習市民博士（一般教養講座課程）」「生涯学習市民博士（プロフェッサー講座課程）」の「学位」を授与することで、意欲的な継続学習を推進しています。



▲生涯学習市民博士「学位記」授与

・行政への市民参画支援

③ まちづくり情報提供の促進

施策・事業名	目的・内容	担当課
情報公開の促進	市民の知る権利を保障し、行政への市民参加を高めるため、文書管理体制の整備や行政情報の充実に努める。	文書法制課
地域・行政資料の整備	稲城の地域資料・行政資料を収集し、閲覧に供する。	図書館課

・各種リーダー育成

④ 各種の人材育成講座の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
健康な食事づくり推進員事業	各種健康づくり事業に協力する指導員を通じ、食事・栄養面からの健康づくりを推進する。	健康課
ジュニアワーカーセミナー	地域・学校でリーダーシップ・メンバーシップを発揮できる青少年の育成を図る。	児童青少年課
青年ワーカーセミナー【再掲】	高校生以上の青年を対象に、地域活動などに積極的に取り組む青年を養成する。	児童青少年課
スポーツリーダー研修会	ニュースポーツ・レクリエーションスポーツ振興のための指導員を養成し、スポーツ人口の拡大、サークル活動を図る。	スポーツ推進課

⑤ 人材活用システムの充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
人材バンクの整備・充実	市民の学習成果や特技などを生かした自己表現の機会とする。また、各種行政委員会・審議会委員としてまちづくりに参加することも可能とする。	市民協働課 生涯学習課
音訳サービスの実施	一般の図書に親しむことが難しい視覚障害者等のために、音訳グループの協力を得て録音図書を作成する。	図書館課
児童サービスの実施	ボランティアと協働し、読み聞かせや読み聞かせに使用する作品の制作を行う。	図書館課
市民講師システムの整備【再掲】	市民の学習成果を生かし、市民どうしの「まなびあい」を支援する場として、市民講師システムを整備する。	生涯学習課



©K.Okawara・Jet Inoue

## (5) 市民の生涯学習活動の支援体制を整備します

### ・自発的・主体的な生涯学習活動の支援

#### ① 学習活動の支援体制の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
市民企画提案講座【再掲】	主催講座の企画を市民から募集し、生涯学習活動の振興を図る。提案者と公民館が共に作り上げていく講座。	生涯学習課
稲城市みどりクラブ運営費補助金	高齢者の知識及び経験を生かし生きがいと健康づくりのための社会活動を通じ、豊かな生活をすると共に、いきいきとした高齢社会の実現に資する。	高齢福祉課
地区体育振興会への補助【再掲】	振興会が各地区においてスポーツ事業を実施し、自主的なスポーツ・レクリエーションを推進できるよう、運営補助を行う。	スポーツ推進課
青少年育成地区委員会への支援【再掲】	自然体験・農業体験・伝統文化（賽の神・お祭り）の継承などを通じた青少年健全育成への支援。	児童青少年課
保育者派遣事業	市民グループの自主学習に保育者を派遣し、学習時間の確保を支援。	生涯学習課
NPO活動への支援	施設の利用や情報提供を通してNPO団体を支援。	市民協働課

#### ② 情報提供・相談体制の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
生涯学習だより「ひろば」発行	生涯学習関連事業・市民団体による催し物や新着図書のご案内などの情報を提供。毎月1回発行。	生涯学習課
公共施設予約システムの導入	公共施設の空き状況の確認や予約をインターネット等からでもできるようにする。	各課
郷土資料室・古民家事業【再掲】	文化財の展示・公開を通して文化財の必要性、親しみを育み、文化財保護の必要性の理解を図る。	生涯学習課
生涯学習宅配便講座案内の発行	生涯学習宅配便講座案内等を発行し、学びたい市民グループに講座の提供を図る。	生涯学習課
稲城市公式ホームページの運営	インターネットを活用して行政情報の提供を図る。	各課
生涯学習相談窓口	生涯学習の講座やグループのご案内、大学等の学習情報、施設などの学習資源の紹介を行う。	生涯学習課
図書館ホームページの運営	蔵書検索や予約を自宅から行うことができる。図書館のサービス、お知らせを総合的に案内。	図書館課

## ③ 学習成果を生かせる場の提供

施策・事業名	目的・内容	担当課
人材バンクの整備・充実【再掲】	市民の学習成果や特技などを生かした自己表現の機会とする。また、各種行政委員会・審議会委員としてまちづくりに参加することも可能とする。	市民協働課 生涯学習課
市民講師システムの整備【再掲】	市民の学習成果を生かし、市民どうしの「まなびあい」を支援する場として、市民講師システムを整備する。	生涯学習課
Iのまちいなぎ市民まつり事業文化祭・芸術祭部門補助金【再掲】	市民の芸術・文化による交流を図ることを目的とした、稲城市民文化祭・芸術祭の実施について、実行委員会へ補助を行う。	生涯学習課
文化センターまつり【再掲】	関連する部署との協力の上、公民館で活動する団体が日頃の学習活動の成果を発表し、地域との交流を図る。	生涯学習課
かしこく健やかな稲城くらしフェスタ【再掲】	消費者団体の研究学習成果を発表する。市民の消費者意識を啓発し、消費生活の安定向上を図る。	市民協働課
稲城フェスティバル【再掲】	日米それぞれでの音楽バンドのステージなどの催し物を通して、青年同士の交流と仲間づくりを図る。	生涯学習課
各種体育大会の開催【再掲】	スポーツ振興を図る。	スポーツ推進課

## ④ 生涯学習に参加しにくい人への配慮

施策・事業名	目的・内容	担当課
ガソリン代・タクシー料金の給付	公共交通機関の利用が困難な障害のある人の行動範囲を広げ、社会参加の機会を拡充する。	障害福祉課
市内循環バス運行	市内循環バス路線の充実を図る。	管理課
音訳サービスの実施【再掲】	一般の図書に親しむことが難しい視覚障害者等のために、音訳グループの協力を得て録音図書を作成する。	図書館課
生涯学習宅配便講座【再掲】	講座を希望する市民の団体に、講師を派遣して学習支援を行う。	生涯学習課
一時預かり事業	保護者が就労・通院・レスパイト等で一時的に家庭での保育が困難となる場合に、保育所にて保育サービスを行う。	子育て支援課



©K.Okawara・Jet Inoue

## ・生涯学習の場の整備

### ⑤ 生涯学習関連施設の整備

施策・事業名	目的・内容	担当課
既存施設の有効利用	自治会館・コミュニティ防災センターなどを生涯学習施設として活用し、市民の身近な学習の場としての活用を図る。	総務契約課 消防本部防災課
老人会館運営費補助	稲城老人会館の健全な活動と運営のために必要な経費の一部を補助し、高齢者福祉の向上を図る。	高齢福祉課
学校施設の整備 【再掲】	校舎等の学校施設については、計画的な改修と維持補修などにより、安全・安心を確保するとともに、環境面に配慮した学校施設などの整備を推進する。 都市基盤整備の進展等に伴う、児童・生徒の増加に対して、校舎の増改築等の必要な対策を講じる。	教育総務課
ふれあいセンター設置・運営事業への支援	稲城市社会福祉協議会が実施する市内の小地域福祉活動を推進し、地域福祉の増進、福祉活動の組織化活動、地域住民への情報提供、身近な相談窓口などを目的に設置及び運営の支援を行う。	生活福祉課
スポーツ施設の有効利用	市立公園内の体育施設やスポーツ広場などを社会体育施設として活用し、多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図る。	スポーツ推進課
学校体育施設開放	学校体育施設を個人・団体に開放し、市民のスポーツ・レクリエーションの活動の場を提供していく。	教育総務課
「稲城ふれあいの森」の活用	市民の身近な自然体験の場として整備し、活用を図る。	児童青少年課
市民農園 【再掲】	農業と市民の交流の場、農地の保全策として、市民農園の充実を図る。	経済課

### ⑥ 学習の場の広がりへの対応

施策・事業名	目的・内容	担当課
大学・高校等との連携	市の事業等で、学校施設を利用することや、大学等に公開講座の講師を依頼して、学習機会の拡大を図る。	生涯学習課
インターンシップ	大学生を受け入れ、学生の職業体験を支援する。	人事課
国・都との連携	国・都の生涯学習関連事業に関する情報を市民に提供する。	各課
他市町村との連携	他市町村の施設利用等を通じて、市民の学習・文化活動の機会を拡充する。	図書館課 各課
民間団体との連携	民間と連携した学習機会を提供し、学習機会の充実・拡大を図る。	生涯学習課 各課

## ・生涯学習推進体制の整備

### ⑦ 広報・広聴活動の充実

施策・事業名	目的・内容	担当課
生涯学習だより「ひろば」発行【再掲】	生涯学習関連事業・市民団体による催し物や新着図書のご案内などの情報を提供。毎月1回発行。	生涯学習課
「広報いなぎ」の充実	行政サービスのお知らせ、市の話題等の情報を分かりやすく伝える。	秘書広報課
情報公開の促進【再掲】	市民の知る権利を保障し、行政への市民参加を高めるため、文書管理体制の整備や行政情報の充実に努める。	文書法制課
地域・行政資料の整備【再掲】	稲城の地域資料・行政資料を収集し、閲覧に供する。	図書館課
生涯学習宅配便講座【再掲】	講座を希望する市民の団体に、講師を派遣して学習支援を行う。	生涯学習課
広聴活動の充実	潜在的な教育行政の需要や生涯学習への要求を把握する。	秘書広報課 生涯学習課

### ⑧ 行政内の組織体制の整備

施策・事業名	目的・内容	担当課
生涯学習推進本部の設置	生涯学習推進にあたっての庁内の連携を図るため、生涯学習推進本部を設置。	生涯学習課
生涯学習キーマン会議の設置	各部署の実務に精通したキーマンによる相互の情報交換、連携により、生涯学習の施策推進を図る。	生涯学習課

### ⑨ 職員の資質向上

施策・事業名	目的・内容	担当課
職員研修の充実	職務遂行にかかる専門知識や業務処理能力等の向上のため、職員研修を実施。	人事課
職員の資質向上	生涯学習推進計画に基づき、課題解決やサービスの向上を目指す。	生涯学習課 各課
日常業務の効率化	市公式ホームページの運営等。インターネットを活用して行政情報を伝達するとともに、広報広聴活動の充実に努める。	各課

※事業の分類方法について

1つの施策・事業が、様々な意義・目的を持っていたり、期待される効果が多面的に展開したりすることも多々あります。このような意義・目的及び効果の多様な側面を表現するため、多くの事業は体系内の複数の位置に分類しています。1つの事業が、体系内の別の分類の位置に再度掲載される場合には、【再掲】という形で示しています。

## 2 稲城市行政以外が行う生涯学習事業

社会人の学び直し（リカレント教育\*）、障害者の生涯を通じた学習、専修学校教育、多様な学習機会、放送大学、大学・専修大学等における公開講座、近隣市公民館等社会教育施設における学習機会、社会通信教育、民間教育事業者、NPO法人等があります。

稲城市内の各種機関・団体が行う生涯学習事業	
社会福祉協議会	高齢者交流事業、ボランティア養成事業など
社会福祉法人等	老人福祉施設の公開講座など
いなぎグリーンウェルネス財団	緑化推進・公園内運動施設管理・各種健康増進事業など
i (あい)クラブ等	各種健康増進事業など
その他 NPO団体等	里山や農園等を利用した事業など
生涯学習団体等	芸術文化、趣味、教養、健康事業など
近隣の各市町村などが行う生涯学習事業	
近隣市等の主催事業	八王子市：八王子学園都市大学「いちよう塾」など 日野市：『Hi Know!（ひのう！）』など 調布市：生涯学習情報コーナー など 府中市：生涯学習センター など
大学等の公開講座等	駒沢女子大学、多摩大学、日本女子大学、玉川大学、恵泉女学園大学 電気通信大学、東京都立大学、実践女子大学、中央大学、明星大学、 帝京大学、東京外国語大学、東京農工大学、多摩美術大学 など
NPO団体等	東京雑学大学、TAMA 市民塾 など
国・都などが行う広域的な生涯学習事業	
東京都等の主催事業	東京リカレントナビ：リカレント教育 東京都立多摩職業能力開発センター：キャリアアップ講習 東京都教育委員会（7区・八王子市）：公立中学校夜間学級 都立学校公開講座：体験学習講座など 東京都消費生活総合センター：消費者問題マスター講座 東京セカンドキャリア塾：セカンドキャリアのための準備講座 など
国の様々な省庁の主催事業	リカレント教育の紹介「マナパス」 デジタル人材育成オンライン講座「マナビDX」 お金の知識eラーニング*講座「マネビタ」 学習支援コンテンツポータルサイト「子どもの学び応援サイト」など
国や都レベルの財団等の事業	講演会、オンラインセミナー、シンポジウム、イベント 体験事業、補助事業、委託事業など
その他	
放送大学等	テレビ、ラジオ、インターネットなどによる通信講座
オンライン学習プラットフォーム	世界トップクラスの大学の講座を無料、低額で受講できるオンライン講座専用ツール。「MOOC」「JMOOC」「Coursera」「Edx」など
通信教育	各種の趣味、教養、資格の取得講座など
民間団体、カルチャースクール等	各種趣味の講座、オンライン講座、講演会、資格取得講座など
美術館、博物館等の事業	展示会、展示解説、企画講座など

## 第5章 計画の評価

### 1 計画の評価の必要性

行政の行う施策・事業については、振り返り評価を行うことにより、その事業の意義がより明確になり、事業の改善・他事業との連携などにつながります。

### 2 計画の評価の方法

評価の方法については、本計画に記載された施策の多くが、他計画などに記載された生涯学習・社会教育の側面を持った施策などを抽出していることから、それぞれの施策が記載された個別計画による推進・評価を基本とし、本計画では、主に重点プロジェクトの推進について、目標や構想などに向けた推進が図られているかについて評価します。

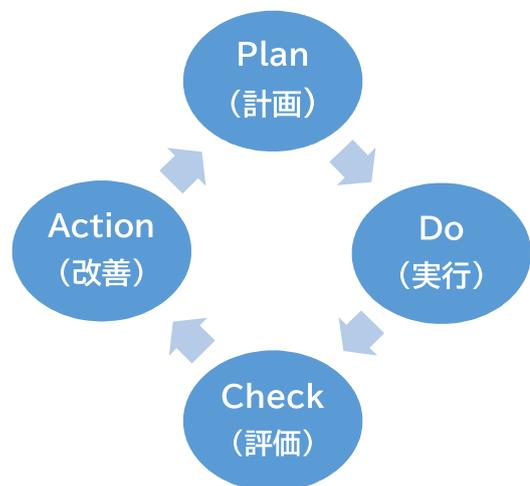
なお、重点プロジェクトなどにつきましては、本計画の計画期間が5年間であることから、「生涯学習推進本部会議」にて、3年目に中間評価を行い、5年目に総括評価を実施します。

### 3 進行管理

生涯学習に関する事業については、当該事業の企画・立案から実施、評価にいたるまでを1つの流れとして意識しながら行政職員が責任をもって進めていく必要があります。

また、変革の時代に応じた計画としては、前例踏襲に陥ることなく、常に新しい事業展開を模索することで、「現代的テーマへの対応」や「受講者の多様な要望」に応え、生涯学習の一層の推進を図ることが重要です。

そこで、本計画を総合的・計画的に展開していくために、「生涯学習推進本部会議」において、年度ごとにPDCAサイクルによる進行管理を行います。



▲PDCA サイクル

## 資料一 1

### 第四次稲城市生涯学習推進計画策定委員会委員名簿 (稲城市社会教育委員)

	氏 名	主な所属
1	安東 道正 ◎	稲城市芸術文化団体連合会
2	渡邊 真砂子 ○	青少育・PTA 関連見識者
3	吉田 辰男	いなぎ IC カレッジ理事会
4	中川 利昭	稲城市みどりクラブ連合会
5	下川 雅弘	駒沢女子大学教授
6	大塚 博之	稲城市社会福祉協議会
7	吉川 昇	稲城市体育協会
8	藤島 亮子	稲城市姉妹友好都市交流協会
9	野口 貴美子	NPO法人 支え合う会みのり
10	恵方谷 雄二	稲城市公立中学校長会

◎ : 会長      ○ : 副会長

稲城市生涯学習推進本部会員名簿

役 職	備 考
本 部 長	副市長
副 本 部 長	教育長
部 員	企画部長
〃	総務部長
〃	市民部長
〃	産業文化スポーツ部長
〃	福祉部長
〃	子ども福祉部長
〃	都市建設部長
〃	都市環境整備部長
〃	教育部長
〃	教育指導担当部長
〃	議会事務局長
〃	会計管理者
〃	消防長
〃	市立病院事務長
事 務 局	生涯学習課長

## 資料一 3

### 策定経緯

日付	会議名	検討内容
令和3年10月25日～ 12月25日	「稲城市民の生涯学習に関する意識調査」(市民アンケート)対象者1000人	
令和4年2月8日	第1回第四次稲城市生涯学習推進計画策定委員会	書面開催「市民アンケート集計結果資料共有」
令和4年3月8日	第2回第四次稲城市生涯学習推進計画策定委員会	「第四次稲城市生涯学習推進計画」策定について
令和4年4月12日	第3回第四次稲城市生涯学習推進計画策定委員会	市民アンケートについて
令和4年4月20日	生涯学習推進本部会議	「第四次稲城市生涯学習推進計画」策定について
令和4年4月25日～ 5月16日	東京26市「生涯学習推進計画に関するアンケート」実施	各市の策定状況等について
令和4年4月28日	生涯学習推進キーマン会議(庁内関係各課)	「第四次稲城市生涯学習推進計画」策定について
令和4年5月10日	第4回第四次稲城市生涯学習推進計画策定委員会	市民アンケート及び計画総論について
令和4年6月14日	第5回第四次稲城市生涯学習推進計画策定委員会	計画総論について
令和4年7月1日～ 15日(※全課対象)	「第四次稲城市生涯学習推進計画(案)」掲載(関連事業一覧)データ調査	「第三次稲城市生涯学習推進計画」掲載データ更新ほか
令和4年7月12日	第6回第四次稲城市生涯学習推進計画策定委員会	計画総論及び今後の施策について
令和4年9月13日	第7回第四次稲城市生涯学習推進計画策定委員会	「第四次稲城市生涯学習推進計画(案)」について
令和4年9月20日	公民館運営審議会	「第四次稲城市生涯学習推進計画(案)」について
令和4年10月11日	第8回第四次稲城市生涯学習推進計画策定委員会	「第四次稲城市生涯学習推進計画(案)」について
令和4年11月8日	第9回第四次稲城市生涯学習推進計画策定委員会	「第四次稲城市生涯学習推進計画(案)」について
令和4年11月15日	教育委員会	第四次稲城市生涯学習推進計画の策定状況について
令和4年11月16日	稲城市議会(福祉文教委員会)	第四次稲城市生涯学習推進計画の策定状況について
令和4年12月1日	パブリックコメント(市民意見公募)(12月14日まで)	「第四次稲城市生涯学習推進計画(案)」について
令和5年1月18日	生涯学習推進本部会議	「第四次稲城市生涯学習推進計画(案)」について(検討)
令和5年2月14日	第10回第四次稲城市生涯学習推進計画策定委員会	「第四次稲城市生涯学習推進計画(案)」について
令和5年3月14日	公民館運営審議会	「第四次稲城市生涯学習推進計画(案)」について
令和5年3月31日	第四次稲城市生涯学習推進計画策定	

## 資料一 4

### 《用語解説》

P.1、3、 20、29 52、53	<b>SDGs（エスディーゼズ）</b> （Sustainable Development Goals） 2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核を成す2030年までの「持続可能な開発目標」であり、発展途上国のみならず先進国を含む国際社会共通の目標。17の目標及び細分化された169のターゲットから構成され、地球上の「だれ一人として取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に対する統合的な取組みが示されています。
P.2、46	<b>eラーニング</b> インターネット上でできる教育・学習形態。IT技術を活用した教育システムで、24時間いつでもどこでもアクセスが可能なおことから受講者は時間や距離の制約を受けずに学習できる利点があります。
P.4	<b>シビックプライド</b> 自分達が住むまちに自ら関わり、まちを良くしていこうという意識。自分たちがこのまちを形作っているという誇り。
P.5	<b>レファレンスサービス</b> （調べもの相談） なにか調べたい事があるときに、図書館職員が調べ物のお手伝いをするサービス。
P.7	<b>サブスクリプション</b> 定額料金を支払うことで一定期間、無制限でサービスを利用することができるビジネスモデル。
P.12、25	<b>Wi-Fi（ワイファイ）</b> 無線LANを利用し、インターネットに接続するものです。パソコンやタブレット、スマートフォン等Wi-Fi対応端末であれば接続が可能になります。
P.19	<b>デジタルディバイド</b> インターネットやパソコンなどの情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。
P.20	<b>Society5.0</b> 超スマート社会。狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く人類史上5番目の社会。第4次産業革命の進展が、生産、販売、消費といった経済活動に加え、健康、医療、公共サービス等の幅広い分野や、人々の働き方、ライフスタイルにも影響を与え、経済成長や健康長寿社会の形成等につながり、少子高齢化が進む我が国において、人々に豊かさをもたらし、個人がいきいきと暮らせる超スマート社会のこと。
P.20、21 24、25 26、30	<b>ICT（Information and Communication Technology）</b> 情報・通信に関する技術の総称であり、一般的には情報通信技術と訳される。
P.20	<b>ライフステージ</b> 人間の一生で過ごす乳幼児期、少年期、青年期、成人期、高齢期など、人間が誕生してから死ぬまでの生活上における年代別の各段階のこと。
P.20、46	<b>リカレント教育</b> 学校教育からいったん離れたあとも、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力などを磨き続けていくための社会人の学びのこと。
P.25	<b>デジタルアーカイブ</b> 博物館・美術館、公文書館や図書館の収蔵品、蔵書をはじめ、有形・無形の文化資源等をデジタル化して記録保存を行うこと。デジタル化することによって、公開やネットワーク等を通じた利用も容易になります。
P.27	<b>アクティブシニア</b> 自分なりの価値観をもち、定年退職後も趣味や様々な活動に意欲的な元気なシニア層を指します。
P.30	<b>YA（ヤングアダルト）</b> 「大人でも子どもでもない」世代のことで、稲城市立図書館では主に中高生を指します。

計画策定に関する SDGs 項目

 1. 貧困をなくそう	 2. 飢餓をゼロに	 3. すべての人に健康と福祉を
 4. 質の高い教育をみんなに	 5. ジェンダー平等を実現しよう	 6. 安全な水とトイレを世界中に
 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8. 働きがいも経済成長も	 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

SDGs の項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
(1) 生涯学習の基礎機関を充実します	・ 家庭教育支援																		
	① 家庭教育支援事業の充実			●	●	●						●	●						●
	・ 乳幼児保育・教育の充実																		
	② 生涯学習における保育事業の充実			●	●	●						●							●
	・ 小・中学校教育の充実																		
	③ 教育内容・教育方法の充実			●	●	●						●							●
	④ 特別支援教育の充実			●	●							●						●	●
	⑤ 教育相談の充実			●	●	●						●						●	●
	⑥ 教育施設の整備・充実			●	●			●	●			●	●	●	●				
	・ 青少年の地域活動の充実																		
⑦ 児童および青少年の社会教育の充実			●	●				●				●		●	●	●		●	
⑧ 青少年の地域ボランティア活動の充実	●		●								●	●					●	●	
⑨ 家庭・学校・地域の連携			●	●							●	●					●	●	
(2) 多様な学習機会を充実します	・ いのちと人権を大切にする学習の充実																		
	① 安全と防災のための学習の充実			●	●			●					●						●
	② 健康づくりのための学習の充実			●	●								●						●
	③ 福祉・環境・消費生活に関する学習の充実	●	●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	④ 人権・平和に関する学習の充実	●	●		●	●					●	●						●	
	・ 生活を維持・向上させるための学習の充実																		
	⑤ 教養を高めるための学習の充実			●	●	●						●	●						
	⑥ 国際化・情報化に対応する学習の充実				●						●	●						●	●
	⑦ 職業能力の向上をめざす学習の充実				●	●			●	●	●								
	・ 生きがい・楽しみを創造する学習の充実																		
	⑧ 自己探求・自己表現のための学習の充実	●		●	●	●			●			●						●	
	⑨ 文化・芸術活動の充実				●														
	⑩ スポーツ・レクリエーション活動の充実			●	●								●						●
	⑪ 趣味・娯楽活動の充実			●	●								●						●
	・ 共生のまちづくりに向けた学習の充実																		
⑫ 男女共同参画社会実現のための学習の充実				●	●			●		●	●						●	●	
⑬ 豊かな福祉社会実現のための学習の充実	●	●	●	●	●			●			●						●	●	
⑭ 外国人との共生のための学習の充実	●	●	●	●						●	●						●	●	
⑮ ふるさと稲城についての学習の充実				●							●							●	

### 計画策定に関する SDGs 項目

 10. 人や国の不平等をなくそう	 11. 住み続けられるまちづくりを	 12. つくる責任つかう責任
 13. 気候変動に具体的な対策を	 14. 海の豊かさを守ろう	 15. 陸の豊かさも守ろう
 16. 平和と公正をすべての人に	 17. パートナーシップで目標を達成しよう	

SDGs の項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
<b>(3) 市民どうしの交流機会を充実します</b>	<b>・であい・ふれあいの機会提供</b>																		
	①各種の交流機会の充実				●			●		●		●	●						●
	②姉妹都市との交流の充実																		●
	<b>・ボランティア活動の充実</b>																		
	③各種ボランティア講座の充実	●	●	●	●							●	●					●	●
	④ボランティア活動の支援体制の充実				●								●						●
	<b>・コミュニティ活動の充実</b>																		
⑤地域イベントの充実				●								●						●	
⑥地域活動への支援の充実	●	●	●	●								●					●	●	
<b>(4) 生涯学習を軸とした市民参画を支援します</b>	<b>・生涯学習の中心的システムの充実</b>																		
	①いなぎICカレッジの充実			●	●							●	●	●	●	●			●
	②生涯学習活性化の工夫				●							●							●
	<b>・行政への市民参画支援</b>																		
	③まちづくり情報の提供の促進				●						●	●	●					●	
	<b>・各種リーダー育成</b>																		
④各種の人材育成講座の充実			●	●							●	●						●	
⑤人材活用システムの充実			●	●	●						●	●					●	●	
<b>(5) 市民の生涯学習活動の支援体制を整備します</b>	<b>・自発的・主体的な生涯学習活動の支援</b>																		
	①学習活動の支援体制の充実				●	●					●	●	●	●	●	●			●
	②情報提供・相談体制の充実				●							●	●						●
	③学習成果を生かせる場の提供				●							●							●
	④生涯学習に参加しにくい人への配慮			●	●							●	●						
	<b>・生涯学習の場の整備</b>																		
	⑤生涯学習関連施設の整備			●	●							●	●						
	⑥学習の場の広がりへの対応			●	●							●	●						●
	<b>・生涯学習推進体制の整備</b>																		
	⑦広報・広聴活動の充実			●	●							●	●						●
⑧行政内の組織体制の整備																		●	
⑨職員の資質向上				●							●	●							

資料

# Inagi あいプラン<sup>4th</sup>

## 第四次稲城市生涯学習推進計画



発行日 令和5（2023）年3月  
編集・発行 稲城市教育委員会教育部生涯学習課  
〒206-8601 東京都稲城市東長沼 2111  
電話 042-378-2111（代表）